

(第六類 第十二號)

(一八三)

第七十三回 帝國議會 行院 不動產融資及損失補償法中改正法律案外四件委員會議錄(速記)第一回

會 議		農林參與官 助川啓四郎君	活動ヲ圓滑ナラシメントスル趣旨ヲ以テ制
昭和十三年三月二日(水曜日)午前十時二十 八分開議		農林省水產局長 三宅發士郎君	定セラレ、其不動產資金ノ融通期間ハ三年
出席委員左ノ如シ		農林省經濟更生部長 小平 権一君	間ト定メラレタノデアリマスガ、昭和十年
委員長 青山 憲三君		農林書記官 石黒 武重君	ニ至リ銀行ノ不動產固定資產ノ資金化ノ狀
理事高木条太郎君 理事喜多壯一郎君		樺太廳長官 今村 武志君	況ニ照ラシ、引續キ本施設ノ存續ヲ必要ト
理事西川 貞一君		（政府提出）	不動產融資及損失補償法中改正法律案
長野 紗良君	成島 勇君	産業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)	（政府提出）
大野 一造君	濱地 文平君	産業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)	九月末ヲ以テ終了スルコトト致シタノデア
森 幸太郎君	今井 健彦君	漁業法中改正法律案(政府提出)	リマス、本法ニ依ル資金ノ融通高ハ昭和十
北 勝太郎君	山崎 銀二君	産業組合自治監査法案(政府提出)	二年末マデニ累計五千百餘万圓ニ達シマシ
三木 武夫君	河合 義一君	中改正法律案(政府提出)	タガ、尙ホ本法ノ存在自體モ金融界ニ對シ
同日委員山崎銀二君辭任ニ付其ノ補闕トシ	テ河合義一君ヲ議長ニ於テ選定セリ	少カラザル好影響ヲ與ヘタモノト考ヘマス、	少カラザル好影響ヲ與ヘタモノト考ヘマス、
出席國務大臣左ノ如シ	○青山委員長 只今カラ開會致シマス——	而シテ最近ニ於ケル銀行ノ不動產固定資產	而シテ最近ニ於ケル銀行ノ不動產固定資產
農林大臣 伯爵有馬 賴寧君	中村參與官	ノ好況ノ影響ヲ受ケ其整理モ次第ニ進捗シ	ノ好況ノ影響ヲ受ケ其整理モ次第ニ進捗シ
出席政府委員左ノ如シ	○中村政府委員 不動產融資及損失補償法	テ參々タノデアリマスガ、之ヲ個々ノ銀行ニ	テ參々タノデアリマスガ、之ヲ個々ノ銀行ニ
大藏參與官 中村三之丞君	中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ダマ	付テ見マス時ハ、本法ハ尙ホ利用ノ餘地ヲ	付テ見マス時ハ、本法ハ尙ホ利用ノ餘地ヲ
大藏省銀行局長 入間野武雄君	ス、不動產融資及損失補償法ハ昭和七年ニ	存スルモノト認メラレマスノミナラズ、事	存スルモノト認メラレマスノミナラズ、事
農林政務次官 高橋 守平君	ノ有スル不動產固定資產ヲ資金化シテ、其	變ノ際デモアリマスノデ、本施設ハ當分之	變ノ際デモアリマスノデ、本施設ハ當分之
第六類第十二號 不動產融資及損失補償法中改正法律案外四件委員會議錄 第二回 昭和十三年三月二日	當時ニ於ケル金融梗塞ノ情勢ニ顧ミ、銀行	御尋シタイコトハ、產業組合特別融資ノ方	御尋シタイコトハ、產業組合特別融資ノ方
	ノ有スル不動產固定資產ヲ資金化シテ、其	デアリマスガ、其總金額ハ昭和十二年度末	デアリマスガ、其總金額ハ昭和十二年度末
	當時ニ於ケル金融梗塞ノ情勢ニ顧ミ、銀行	ガドレ位ニナツテ居リマスカ、此不動產融資	ガドレ位ニナツテ居リマスカ、此不動產融資
	ノ有スル不動產固定資產ヲ資金化シテ、其	ト對照シテ御伺ヒスル必要ガアルト思ヒマス	ト對照シテ御伺ヒスル必要ガアルト思ヒマス
	期間ヲ延長スル必要ガアルノデアリマス	○入間野政府委員 產業組合中央金庫ノ特	○入間野政府委員 產業組合中央金庫ノ特

付託議案
不動產融資及損失補償法中改正法律案
(政府提出)
○產業組合中央金庫法中改正法律案
(政府提出)
補償法中改正法律案(政府提出)
○產業組合中央金庫特別融通及損失
補償法中改正法律案(政府提出)
○產業組合自治監査法案(政府提出)

別融資ニ付キマシテハ、只今手許ニハッキリシ
タ數字ヲ持合セテ居リマセヌガ、大體不動
產融資ト其總額ガ似タモノデアルヤウニ記
憶致シテ居リマス、隨ヒマシテ五千百万圓
カ二百万圓見當タラウト考ヘテ居リマス
○北委員 ソレハ正確ナ數字ヲ得タイノデ
ス

○入間野政府委員 昭和十二年十一月末マ
デニ貸付總額ガ五千万圓餘ニナッテ居リマス
○北委員 私ハ此產業組合特融ノ仕事ヲ、
實際ニ自分ノ產業組合デヤッテ居リマスガ、
其結果カラ見マスルト、此特融資金ノ融通
ト云フコトハ、產業組合ガヤリマスト政府
ガ損失ヲ來スヤウナコトハ絶對ニナイモノ
ト、斯ウ云フ工合ニ見ラレテ居リマス、ソ
レハ何故カト云フト、產業組合ガ借入主體
デアルナラバ、其產業組合ガ破産セヌ限り
ハ損失ヲ補償シテ貰フコトガナイト云フヤ
ウナ結果ニナッテ來ルカラデアリマス、今マ
デ大分長イ間ヤリマシタケレドモ、政府ニ
實際損失ヲ掛ケルト云フコトハナイノデア
リマス、此不動產融資モ同様デアラウト
思フノデアリマスガ、併シ先程ノ御説明
ニ依リマスト多少好景氣ニナッテ來タ爲
ニ、此融資額ガ少クテ濟ムト云フコトデ
アリマス、併シ餘リニモ此數字ガ少ナ過

ギルヤウニ思ハレテ居ルノデアリマス、
此表ニ依リマスト昭和十二年末ハ三千
二百万圓ソコノヤウデアリマス、北海
道ニ於ケル狀況ナドヲ申シマスト、隨分農家
ガ拓殖銀行カラ金ヲ借りテ、ソレヲ支拂フコ
トガ出來ナイ、所謂銀行カラ見レバ固定資
金ニナッテ居ルモノガ隨分アル筈デアルト
思フノデアリマス、是等ニ對シテ何等之ヲ
適用シテ行ツテ居リマセヌガ爲ニ、ドンノ
ト此抵當權ノ執行ヲヤッテ居リマス、實ニヒ
トイコトヲヤッテ居ルノデアリマシテ、借り
タ農民ハ實際始終泣カサレテ居ルノデアリ
マス、恰モ產業組合ガ此特融資金ヲヤリマ
スヤウニ、銀行ガ此特融資金ヲヤッテ吳レマ
スナラバア、云フコトナシニ濟ムノダト思
フノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ當局
ハ此不動產融資ニ付テノ、一ツノ何ト言ヒ
マスカ、取締或ハ指導ト云フヤウナモノガ、
銀行ニ對シテ缺ケテ居ルノデハナカラウカ、
此不動產融資ノ主ナル理由ハサウ云フモノ
ヲ救フ爲ニ出來タモノト思ヒマスガ、此點
ニ付テ當局ノ御考ヲ承ッテ置キタイ

○中村政府委員 此不動產融資ハ御承知ノ
如ク昭和七年ノ農村經濟ガ深刻ナル不景氣
ニ見舞ハレマシタ時ニ、慥カ六十二回ノ臨
時議會ニ於テ制定セラレタモノデゴザイマ
ス、其後昭和十年ニ改訂ヲセラレテ今日ニ
及シニ居ルノデゴザイマスガ、只今北サン
ノ仰セノ如ク出テ居リマス金ハ、昭和十二
年末ニ於テ五千百餘万圓デ、現在高八三千
餘万圓デゴザイマス、卒然之ヲ見マスルト、
如何ニモ金額ガ少イヤウニ思ハレマスルガ、
ソレハ此法律ガ存在ラシテ居ルコト自體ニ
於テ一種ノ安定線トシテ非常ナ效果ヲ收メ
テ居ルコトハ認ムナケレバナラナイト思フ
ノデゴザイマス、本法制定以來不動產ノ值
上リモゴザイマス、又近年農村方面ニ於テ
私ハ樂觀ハ致シマセヌガ、比較的經濟モ順
調ニ進シテ居リマス、又銀行自體ニ於キマ
シテモ、預金ガ增加ラシ、不動產ノ值上リ
等ニ因ル其銀行ノ自然的整理ト云フコトモ
出來テ居リマスノデ、旁々金額ノ如何ハ別ト
致シマシテ、大體ニ於テ相當ナ成績ヲ示シ
テ居ルト思フノデゴザイマス、就キマシテ
ガ嚴重デアルノデハナイカ、或ハ又仰セノ
ドウモ銀行ガ唯自己保全ノミヲ考ヘテ居リ
シマシタ北海道ノ實例カラ言ヒマシテモ、
ハナイ、コンナ小サイ金額デ終ルベキモノ
デハナイト私ハ思フノデアリマス、先程申
シマシタ北海道ノ實例カラ言ヒマシテモ、
ドウモ銀行ガ唯自己保全ノミヲ考ヘテ居リ
マシテ、ソレデ擔保物ノ價格ガ上ッテ來レ
バ、其上ッテ來タ時ニ、農家ガ到底古イ借金ガ
乘ジマシテ、盛ニソレラ競賣等ノ處分ラシテ居
ルノデアリマス、若シ此銀行救濟ノミニアラズ
シテ、不動產抵當ニ依ッテ借入レタモノヲ救濟
スルト云フコトデアリマスラバ、現在北

ザイマスルガ、尙ホ個々ノ銀行ニ付キマシ
テ、此本法存續ノ必要モアリ、目下支那事
變中デゴザイマスルノデ、經濟界ニ於テ如
何ナル事變突發スルヤモ知レナイト云フヤ
ウナ、萬一ヲ慮カリマシテ、尙ホ今回本法
ヲ存續シテ萬遺算ナキヲ期シタイ、斯ウ云
フ考デアルノデゴザイマス

○北委員 此不動產融資ハ實際ノ目的ガ銀
行ノ救濟ニアルノデアリマスカ、或ハ又不
動產ヲ擔保ニシテ借入レタルモノヲ救濟シ
ヨウト云フコトガ目的デアルノデアリマス
カ、其見解ガ私ハ分ッテ居ラヌ、借入レタモ
ノヲ保護救濟スルト云フ意味デアリマスル
ナラバマダノ此金ニ餘裕ガアルヤウナ筈
ハナイ、コンナ小サイ金額デ終ルベキモノ
デハナイト私ハ思フノデアリマス、先程申
シマシタ北海道ノ實例カラ言ヒマシテモ、
ドウモ銀行ガ唯自己保全ノミヲ考ヘテ居リ
マシテ、ソレデ擔保物ノ價格ガ上ッテ來レ
バ、其上ッテ來タ時ニ、農家ガ到底古イ借金ガ
乘ジマシテ、盛ニソレラ競賣等ノ處分ラシテ居
ルガ、是等ニ付キマシテハ、銀行ヲ監督致
シテ、不動產抵當ニ依ッテ借入レタモノヲ救濟
スルト云フコトデアリマスラバ、現在北

分ト云フヤウナ問題ハ、土地ノ値段ガ上レバ上ル程返済ノ餘地ガ出テ來ル譯デアリマスカラ、ソコデア、云フヤウナ問題ハ起ラズニ濟ムノデヤナカラウカ、而モ低利ニシテ年限ノ長イモノニ借換ヘサスト云フコトガ出來マスルナラバ、是ハ銀行モ救ハレルシ、同時ニ又土地ヲ抵當トシテ提供シタ者モ救ハレ、農業ヲ安全ニ繼續シテ行クコトガ出來ルノダ、斯ウ思フノデアリマス、此見解、單ニ銀行ノミヲ救フ積リデアルノデアリマスカ、ソレトモ亦借リテ居ル人ニ對シテモ救濟ノ意味デアリマスカ、其處ヲハッキリ承ッテ置キタイト思フ

○中村政府委員 本法ハ其第一條ニ示サレテ居リマス如ク、又昭和七年ニ此制定ノ趣旨ヲ當時ノ大藏當局ヨリ説明致シマシタ如ク、當時未會有ノ農村經濟其他ノ深刻ナル不景氣ニ際シマシテ、一般ノ金融疏通ノ爲デゴザイマシテ、所謂凍結セル不動産固定資產ヲ資金化シテ、金融ノ圓滑ヲ圖ルト云フノガ其趣旨デアツタノデゴザイマス、隨テ直接的ニ銀行ニ對シテ固定不動産ヲ資金化スルト云フコトガ、同時ニ肩替リセラレルコトモアルノデアリマスカラ、是亦個人ニモ其好影響ヲ及ボスノデゴザイマス、隨ヒマシテ本法ハ農村負債整理トハ其本質ニ於テ多少

異ナル所ガアルノハ、已ムヲ得ナイコトデアラウト存ジマス、尙ホ北海道ニ於ケル御尋ノ事柄ニ付キマシテハ銀行局長ヨリ御答申上ゲタイト存ジマス

○入間野政府委員 只今中村政府委員カラ申上ゲマシタヤウニ、本法ノ目的ハ昭和七年頃ニ於ケル金融界ノ梗塞ヲ打開シ、金融ノ圓滑ヲ圖ルト云フコトガ、其主タル目的デアツタノデアリマス、隨ヒマシテ北海道ニ

於テハ普通銀行若クハ貯蓄銀行ガ借主ニナリマシテ、北海道拓殖銀行ガ預金部ノ金ヲ借リテ之ニ融通スルト云フ形ニナッテ居リ

○青山委員長 丁度君ノ要求シテ居リマシタ権太廳ノ政府委員ガオ出デニナリマシタニ關係シテノ質問デアリマス

○北委員 ソレモ同様產業組合自治監査法呼ビニナリマセヌカ

○喜多委員 委員長、農林省政府委員ヲ御融資ノ案ニ付テドナタモ御質問アリマセヌカ

○青山委員長 サウ致シマセウ——不動産

マス、御示シノ場合ハ北海道拓殖銀行ニ屬スルモノガアルヤウニ先程承リマシタガ、

北海道拓殖銀行ハ自己ノ固定不動産貸シヲ資金化スル途ガナイノデアリマス、普通銀

行及ビ貯蓄銀行ノ不動産貸シヲ資金化シ、金融ノ梗塞ヲ打開シ、金融ノ圓滑ヲ圖ルト

云フノガ此法律ノ趣旨デゴザイマス、左様御諒承願ヒマス

○北委員 是デ濟ミマシタガ、尙ホ此問題テ、午後一時再開致シマス

○青山委員長 ソレデハ是デ休憩致シマシテ、午後一時再開致シマス

午前十時五十分休憩

午後一時二十九分開議

○青山委員長 只今カラ開會致シマス、產業組合中央金庫法中改正法律案、產業組合

案、產業組合自治監査法案、漁業法中改正法律案、之ヲ議題ト致シマシテ政府ノ説明

改正法律案ヲ提出致シタ次第アリマス

コトガアルノデアリマス、今ノ機會デハ工コトガアルノデアリマス、今ノ機會デハ工

合ガ惡イカト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

スカ

合中央金庫ハ設立以來、產業組合金融ノ中

樞機關トシテ、其使命ノ達成ニ努メテ居ル

次第アリマスガ、他面漁村金融ニ付キマ

シテハ遺憾ノ點多ク、昭和八年ノ漁業法ノ

改正ニ依リ、漁業組合ハ各種ノ經濟施設ヲ

行フコトヲ得ルコトトナツタノデアリマス

ガ、其中樞的金融機關ノ備ハラナイ爲メ、

其活動上不十分ナ所ガアリマスノデ、今回

同金庫ノ資本金ヲ增加致シマシテ、漁業組

合及ビ同聯合會ノ之ニ對スル加入ノ途ヲ開

キマスルト共ニ、產業組合中央金庫ノ業務

ノ狀況カラ見マシテ、現行法上種々不便ノ

點ガアリマスノデ、是等ニ付キ必要ナル改

正ヲ加ヘ、尙ホ政府ノ出資ニ對シマシテハ、

從來剩餘金ノ配當ヲ爲スコトヲ要セザルコ

トニ相成ッテ居リマスガ、其期間ハ近ク満了

致シマスノデ、金庫ノ實情及ビ漁業組合ノ

新ニ加ハルコト等ノ事情ニ鑑ミマシテ、今

後ノ配當ニ關シ適當ナル改正ヲ行ヒ、其活

動ヲ促進サセル必要ガアリマスノデ、以上

ノ諸點ニ關シ、茲ニ產業組合中央金庫法中

次ニ今回ノ改正事項ノ概要ヲ述べマスレバ、第一ニ漁業組合聯合會及び漁業協同組合ヲ、產業組合中央金庫ニ加入セシメ得ルコトトシタノデアリマシテ、產業組合中央金庫ノ各種ノ業務ハ、總テ產業組合聯合會及ビ産業組合ト同様ニ、漁業組合聯合會及び漁業協同組合ニモ及ボシ、漁業組合聯合會ニハ産業組合聯合會ト同様ニ、産業組合中央金庫ノ業務ヲ代理セシメ得ルコトニ致シタノデアリマス、從來ニ於キマシテモ産業組合中央金庫ヨリ、産業組合ヲ通ジテ約五百万圓程ノ資金ガ、漁村方面ニ融通セラレテ居タノデアリマスガ、元來漁業組合ヲ基礎トスル系統的漁業金融機關ノ樹立ハ、水產界多年ノ要望デアリマシテ、此改正ニ依リマシテ漁業法中改正ト相俟チ、其要望ニ副フコトト相成ル次第デアリマシテ、漁村ノ實情ニ應ズルモノト信ズルノデアリマス、第二ニ産業組合中央金庫ノ資本金ヲ五百萬圓增加スルコト致シタノデアリマス、是ハ只今申上ダマシタ通り、漁業組合联合会及ビ漁業協同組合ヲ、產業組合中央金庫ニ加入セシメマシテ、同金庫ヲシテ從來ノ産業組合金融ノミナラズ、漁業組合金融ニモ活動セシムルコト致シマシタノデ、其爲ニ要スル資本金ノ増加デアリマ

ス、而シテ其中二百五十万圓ヲ限り政府ガノ定員ニ關シマシテ、現在二十名以内トアリマスノヲ、三十名以内ニ増加致スコトトシタノデアリマス、是ハ産業組合中央金庫ノ業務ノ進展ニ伴ヒマシテ、更ニ各方面ノ知識ヲ集メマスルト共ニ、漁業組合關係者ヨリモ其代表者ヲ出シマシテ、其業務ノ圓滑ナル遂行ヲ期センガ爲メデアリマス、第四ニ産業組合中央金庫ノ年賦償還貸付額ノ制限、即チ拂込出資金及び産業債券ノ發行額ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ナイト云フ現行法ノ規定ハ、産業組合中央金庫ガ政府資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於キマシテハ、之ヲ適用シナイコトニ致シタノデアリマス、近時農山漁村ノ不況ニ伴ヒ、各種ノ政府資金ノ融通ニ依リマシテ、年賦償還貸付ガ增加ノ傾向ヲ示シマシタ結果、其貸付餘力ガ非常ニ減少致シマシタノデ、政府資金ノ如ク確實ナル資源ニ依ルモノデ、且ツ政府ノ政策遂行上必要ナルモノニ付キマシテハ、右制限規定ヲ適用シナイコトニ致シマシテ、政府資金ノ圓滑ナル融通ヲ爲シ得ルコトト致シタノデアリマス、第五ニ産業組合中央金庫ノ餘裕金運用ヲ便ナラシメ

現在ハ國債證券地方債證券、又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケマシタル有價證券ノ買入シカ
出来ナイノデアリマスガ、更ニ進シテはガ
應募又ハ引受ヲモ爲シ得ルコトニ致シマシ
タコト、及ビ産業組合聯合會、産業組合、
漁業組合聯合會又ハ漁業組合ノ發達ヲ圖ル
爲メ必要ナル施設ヲ行フ法人ニ對シ、主務
大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲スコトヲ得
ルコト致シタノデアリマス、第六ニ産業
組合中央金庫ノ事業年度ハ、現在六箇月ニ
ナツテ居ルノデアリマスガ、組合金融ノ近狀
カラ見マシテモ、又一般ノ産業組合ノ事業
年度トノ關係上モ、金庫ノ事業年度モ、産業
組合ノ例ニ準ズルノガ適當デアルト認メラ
レマスノデ、從來ノ之ニ關スル規定ヲ削除
シ、産業組合法ヲ準用スルコト致シマシ
テ、原則トシテ事業年度ハ一箇年トシ、但
シ積款ニ依リ六箇月ト爲スコトヲ得ルコト
ト致シタノデアリマス、第七ニ産業組合中
央金庫ノ事業年度ヲ只今申述ベマシタ通り、
一箇年又ハ六箇月ト致シマスルガ、貸付金
利子ノ最高歩合ハ、必ズ六箇月毎ニ定メル
コトガ必要デアルト認メラレマスノデ、從
來毎事業年度ノ初メニ於テ定ムル規定デア
リマスモノヲ、事業年度ニ從ヒ六箇月毎ニ
主務大臣ノ認可ヲ受ケテ定メシメ、其期間

内ニ之ヲ變更セントスル時モ亦同様ニ、主務大臣ノ認可ヲ受ケシタルコトニ致シタノデアリマス、第八ニ産業組合中央金庫ハ創立初期ヨリ十五箇年間政府ノ出資ニ對シ、剩餘金ノ配當ヲ爲スコトヲ要シナカッタノデアリマスガ、其期間ガ近ク満了致スノデアリマス、現在ノ産業組合中央金庫ノ業績内容及ビ漁業組合ノ新ニ加入スルコト等ニ伴フ今後ノ業務等ヨリ見マシテ、政府以外ノ者ノ出資ニ對スル配當ト同率ノ配當ヲ、政府ノ出資ニ對シテモ爲サシムルコトハ、妥當デアリマセヌシ、産業組合中央金庫ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル所以デモアリマセヌノデ、其間ニ區別ヲ設ケマシテ、政府以外ノ者ノ出資ニ對スル配當ガ一定率以下ナル場合ニハ、政府ノ出資ニ對スル配當ヲ制限スルコト致シマシテ、今後一層農山漁村ノ金融ニ活動セシメルコトト致シタノデアリマス、増加致シマスル政府ノ出資二百五十万圓ニ付テモ、勿論同様ニ取扱フノデアリマス次ニ漁業法ノ改正ニ付キ御説明申上ゲタイト存ジマス、漁業組合ハ現在其數約四千ニ及ビ、昭和八年ノ漁業法改正ニ依リ其組織ヲ整備シ、漁村ニ於ケル協同ノ經濟機關トシテ、漁村經濟更生上重要ナル役割ヲ演ジ來ツタノデアリマスガ、金融機關トシテ

ハ其機能上缺クル所ガアリマシテ、漁村金融ノ改善上遺憾トスル所ガ少クナイノデ

アリマス、仍テ先ニ御説明申上ゲマシタ通り、漁業組合聯合會及ビ漁業協同組合ヲ、産業組合中央金庫ニ加入セシムルト共ニ、漁業組合聯合會及ビ漁業協同組合ニ對シ、貯金ノ受入ニ關スル施設ヲ認ムルコトトシ、漁村ニ於ケル相互金融ノ途ヲ開キ、漁業組合ニ依ル共同事業等ノ促進ヲ圖ラントシタノデアリマス、尙ホ漁業組合聯合會ノ活動ヲ圖ル爲メニ三ノ事項ニ付キ改正セントスルモノデアリマス、改正事項ノ主ナル點ヲ申上ゲマスト、第一ニ漁業協同組合ニ對シ組合員ノ貯金ノ受入ニ關スル施設ヲ認ムルト共ニ、併セテ加入豫約貯金、家族貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ認メ、又漁業組合ノ系統機關デアル漁業組合聯合會ニ對シ、所屬組合又ハ所屬聯合會ノ貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ認メルコトト致シタノデアリマス

第二ニ日本勸業銀行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行、農工銀行又ハ産業組合中央金庫ガ漁業組合及ビ漁業組合聯合會ニ對シ資金ノ供給ヲ爲スニ際シ、自己ノ信用ノミニテハ資金ノ借入不可能ノ場合ニ漁業組合聯合會ヲシテ保證ヲ爲スコトヲ得シメ、其

資金供給ノ圓滑ヲ圖ラシムルコトト致シタノデアリマス

第三ニ漁業組合又ハ漁業組合聯合會ガ水產物ヲ遠隔地ニ共同出荷スルコトガ漸次増加シテ參リマスル爲、道府縣ヲ區域トスル漁業組合聯合會ガ所屬ノ組合又ハ聯合會ニ對シ手形ノ割引ヲ爲スコトヲ認メ、代金決済ノ敏速、圓滑ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス

次ニ産業組合中央金庫特別融通及び損失補償法中改正法律案提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、本法ハ御承知ノ如ク昭和七年當時ニ於ケル經濟界ノ異常ナル不況ノ爲メ、農村金融機關トシテ重要ナル地位ヲ占メテ居リマスル信用組合及ビ信用組合聯合會ノ貸付金が甚ダシク固定致シマシタノデ、産業組合中央金庫ヲシテ政府ノ損失補償ノ下ニ對シ、所屬組合又ハ所屬聯合會ノ貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ認メルコトト致シタノデアリマス

本法ラントシタノデアリマス、改正事項ノ主ナル點ヲ申上ゲマスト、第一ニ漁業協同組合ニ對シ組合員ノ貯金ノ受入ニ關スル施設ヲ認ムルト共ニ、併セテ加入豫約貯金、家族貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ認メ、又漁業組合ノ系統機關デアル漁業組合聯合會ニ對シ、所屬組合又ハ所屬聯合會ノ貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ認メルコトト致シタノデアリマス

次ニ産業組合中央金庫特別融通及び損失補償法中改正法律案提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、本法ハ御承知ノ如ク昭和七年當時ニ於ケル經濟界ノ異常ナル不況ノ爲メ、農村金融機關トシテ重要ナル地位ヲ占メテ居リマスル信用組合及ビ信用組合聯合會ノ貸付金が甚ダシク固定致シマシタノデ、産業組合中央金庫ヲシテ政府ノ損失補償ノ下ニ對シ、所屬組合又ハ所屬聯合會ノ貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ認メルコトト致シタノデアリマス

以上ガ四法案ヲ提出致シマシタ理由ノ大要デアリマス、何卒御審議ノ上御可決アラソコトヲ希望致シマス

シマス致希望ヲコトニ

○青山委員長 北君、質疑の通告は數名ア
ルノデゴザイマスルガ、政府委員ノ都合ニ
失ツニ、北君ニ寺ニ後言フ干くて書ダミガ

マスカラ、ドウカ簡單ニ御願致シマス

○三

ノ示ス通り、組合自身ノ自治的精神ニ依ツテ、所謂組合ノ自肅自戒ノ精神ニ依ツテ、ノデナケレバナラヌコトヘ申スマデモナイノデアリマス、斯カル意味ノ自治監査ハ寧ロ産業組合側ノ望ム所デアリマスルガ、唯本法案ノ制定ニ當リマシテ、特ニ注意ヲ要シマスルコトハ、動モスレバ此事ガ妙ナ響キ方ヲスルコトデアリマス、恰モ當今ハ世間ニ於キマシテ所謂反産的言動ガ頻リニ行ハレル時デアリマス、其爲ニ本法ノ制定ヲ何カ政府ガ産業組合壓迫ノ意圖デモアルカノ如キ曲解ヲ生ミマシテ、産業組合壓迫時代ガ來タトデモ云ッタヤウナ一種ノ錯覺ニ陥リマシテ、サウシタ意味ノコトガ萬一ニモ働く、且ツ是ガ世間ニ植付ケラレルコトガアッテハナラヌト思フノデアリマス、近頃反産ノ聲ガ擡頭シマシタ爲ニ政府ノ役人マデガ世間ニ遠慮勝チニナリ、何時トハナ

シニ之ニ感染シテ、遂ニ其調子ニ乗ツテ、産業組合ノ正當ノ事業ニ迄モ干渉シ、或ハ之ニ彈壓ヲ加ヘルト云フヤウナ實例ガ少クナインデアリマス、最近私ノ手許ニ届キマシタモノデ其著シイモノハ、北海道ニ於ケル産業組合ノ鹽小賣取消ノ問題、ソレハ北海道十勝支廳管内ノ芽室村ノ産業組合、御影村ノ産業組合、後志支廳管内ニ於ケル喜茂別村ノ産業組合ニ對シテ、當局ハ從來カラ鹽ノ小賣ヲ許シテ居ツタノデアリマスガ、其認可ノ取消ヲサレタノデアリマス、函館地方專賣局ノ認可方針ヲ仄聞シマスト、同局デハ地方ノ鹽小賣商人ノ請託ヲ容レマシテ、爾後産業組合ニ對シテハ機會アル毎ニ認可ヲ取消シ、再び認可シナイ方針ダト聞クノデアリマス、殊ニ此喜茂別ノ産業組合ノ如キハ既ニ購買シテアッタ鹽ノ手持品ヲ、是ガ期限ガ切レタカラト云フノデ其配給マデモ禁止シタ、斯ウ云フヤウナ當局ノ處置ハルモノデアルコトハ明カデアリマス、洵ニ寒心ニ堪ヘヌモノガアルト思フノデアリマス、此問題ニ對シマシテ大藏當局ハソンナヤウナ方針ヲ執ツテ居ラレルカドウカ、ソレヲツ伺ヒタイト思フノデアリマス

小賣人ヲ産業組合ニ指定スル方針ニ付テ御賣人ハ産業組合ニモ指定シテ參ッタノデアリマシテ、殊ニ多量ノ鹽ヲ扱ヒマスル場合、例ヘバ味噌、醤油等ニ使フ、或ハ漁業ノ方ニ使フト云フヤウナ場合ニハ、産業組合ガ之ヲ扱ヒマスコトガ便宜ナ場合ガ多イノデアリマス、サウ云フ場合ニハ指定シテ參ッタノデアリマス、只今御述べニナリマシタ北海道ニ於ケル具體的ノ事例タル小賣人ノ指定取消ニ付キマシテハ、私ハマダ能ク存ジテ居リマセヌ、能ク狀況ヲ調査致シマシテ、別ニ産業組合ヲ壓迫スルト云フヤウナコトハナイト思ヒマスガ、斯ノ如キコトガアリマスレバ能ク注意ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

ガ中心ニナルベキデアリマス、所ガ其醣農製品ノ販路ノ見透シガ付キ、前途有望視セラレル矢先ニ於キマシテ、樺太廳モ近頃ノ官廳ノ間ノ流行リニ見エマス所ノ高級ノ古手役人ノ會社入リガ行ハレマシテ、同時ニ全島ノ製酪事業竝ニ製品ノ販賣事業ヲ擧ゲテ明治製糖會社ニ、事モアラウニ二十五箇年ト云フ長イ間ニ亘ツテ、一切ノ權利ヲ讓渡スル方針ヲ立テタノデアリマス、爾來島内ノ產業組合ヲシテ植民地ノ役人ノ威光ヲ以ツテ無理ヤリニ之ヲ明治製糖會社ノ特約組合化セシメツ、アルノデアリマス、所ガ樺太農民ノ中ニモ目明キガ居リマシテ、之ニ反對ヲ致シマシテ、酪農經營ノ最後ノ仕上ゲノ一番大事ナ仕事ヲ營利資本家ニ握ラセルト云フコトハ、所謂農業經營ノ生命線ヲ失フモノダ、首ツ玉ヲ資本家ニ抑ヘラレタノデハイカヌト云フノゾ、所謂自主的農場建設ノ主張者等ハ之ニ應ジナイ、然ルニ樺太廳ハ是等反對者タル組合側ニ對シテハ有ユル壓迫、有ユル彈壓的態度ヲ以テ之ニ臨ミマシテ、島農民ヲシテ官廳ニ對シテ御無理御内ノ高級古手ノ役人ガ會社ニ入リマシテ尤ノ態度ニ出ヅルノ已ムナキニ至ラシムテ居ルノデアリマス、第一樺太廳ノ官吏ハ廳ニ、何處マデガ會社ノ仕事デアルカ、樺太

廳ノ領分デアルカ、見境ヘモ付イテ居ラヌト
云フノカ、其官吏ガ會社ノ重役ニナッテカラ
尙ホ一箇年間モ權太廳ノ元ノ官舍ノ中ニ置
イテ、其處カラ會社ニ通勤サシテ居ル、此一
事ヲ以テシテモ其消息ヲ知ルコトガ出來ル
ノデアリマス、斯様ナ工合デ此問題ニ付キ
マシテ、權太廳デハ法國ニアルマジキ悉
ナコトヲシテ而モ平然トシテ居ルノデアリ
マス、總テ補助成ハ此會社側ノ特約組合
又ハ申合セ團體以外ノモノニハ致サナイト
モヤラナイ、甚シキ差別待遇ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、昭和三年ニ權太廳ニ酪農獎
勵補助規定ト云フモノガ出來テ居ルノデア
リマスガ、是ハ會社側ニ入ッテ居ラヌモノニ
對シテハ、全ク空文化シテ居ル、現ニ昨年
度ニ於キマシテ、此會社ノ加入ニ反対スル
組合ニ對シテハ補助助成ノ申請ガアッタノ
ニ對シテ、全部之ヲ却下シテ居ルト云フコ
トヲ聞クノデアリマス、第一ハ「バター」ノ
製造補助デ、是ハ脂肪一%當リニ八厘ヅ、補
助シテ居ルノデアリマスガ、隨分大キナ額
デアリマス、此補助ヲ一厘モ與ヘナイ、次
ハ製酪器具機械購入補助、之ニ對シテモ却下
シテ居ル、乳製品營業許可、是モ許シテ居ラ
ナイ、集乳所建設竝ニ冷蔵庫建設等モ補助

スルカラト云フ條件デ、ソレハ口約束デアッ
タガ、建設サシテ置キナガラ、ソレガ愈、出
來上ツテモソレヲヤラヌ、又農業倉庫建築補
助等、飛ンデモナイ所ノモノマデ反對スル組
合ニハヤラヌ、其他貸付種牡牛ヲ取上ゲル、
或ハ移入牝牛ニ補助スルノガアルガ、ソレ
ヌ、ソンナ工合ニシテ會社側ノ組合ニハ事每
ニ補助ヲ與ヘテ居ルケレドモ、會社ニ反對ス
ルモノニ對シテハ悉ク補助ヲセヌ、而シテ
其他色々ノ點デ甚シキ彈壓ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、デ此補助規定ト云フモノハ、
實ニ會社側デナイモノヲ彈壓スル所ノ一つ
マス、一方會社側組合ニ對シマシテハ集乳
ノイデメル材料ニ用ヒラレテ居ルノデアリ
マス、一方會社側組合ニ對シマシテハ集乳
所ノ建築或ハ器具機械ノ購入ニ對シマシテ
ハ、其權益ヲ明治製糖ニ譲渡ス條件附デ補
助金ノ交付指令ヲ發シテ居ルノデアリマス
ガ、此補助規定ニ依リマシテ、補助金ノ交
付ヲ得テ拵ヘタモノハ五箇年間ヘ他ニ譲渡
ルノデアリマスガ、之ヲ一年以内ニ會社ニ
賣却サシテ居ル、斯ノ如キハ全ク此補助ノ
精神ニ適ヘナイノミナラズ、農家ニ補助ス
ルノデアリマスガ、之ヲ一年以内ニ會社ニ
當局ハ會社ニ入ラナイ方ノモノニ對シマシ
テハ、或ハ意見ノ相違ニナルカモ知レマセ
ヌガ、其意見ノ相違ハ相違トシテ行クベキ
モノデハナイ、是ハ江戸ノ仇ヲ長崎デ討ツ
ヤウナモノデアル、會社側ニ入ッテ居ル者

獎勵ノ精神ニ背クモノデアルト思フノデア
リマス、其他產乳補助ノ如キモ、是ハ會社側
ノ組合員タケ一「パーセント」ニ八厘ノ補助
ヲ交付シテ、非會社側ノ組合員ニハ一厘モ
交付シナイ、是亦形ヲ變ヘタ所ノ營利資本
考ヘルノデアリマス、斯ノ如キハ權太廳方
ニ補助ヲ與ヘテ居ルケレドモ、會社ニ反對ス
ルモノニ對シテハ悉ク補助ヲセヌ、而シテ
其他色々ノ點デ甚シキ彈壓ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、當局ノ所見如何デアリマスカ、
反スル所ノ非違ノ處置デアルト思ハレルノ
酪農獎勵補助規定ノ精神ヲ無視シ、之ニ背
考ヘルノデアリマス、斯ノ如キハ權太廳方
レバナラヌト思フノデアリマス、資本主
義ノ社會ニ於テ最モ不利ナ立場ニ立ツテ居
ル農民ガ、唯一ノ生キル途トシテ選ンデ
居ル所ノ此協同組合組織、即チ產業組合
組織ニ依ツテ、自主的農村ヲ立テヨウトス
コトデアルノデアリマス、權太廳ノ考ヘテ
居ルヤウナ、近視眼的ニ一時ノ利便ノ爲ニ
コトデアルノデアリマス、權太廳ノ考ヘテ
居ルヤウナ、後廻シニシテモ、アノ極北ノ地デ惠マ
レザル自然ノ惡條件ノ下ニ於テ奮闘シテ居
ル所ノ貧弱ナル農民ノ方ヲ先ニヤルベキデ
ハナイカ、現ニ權太廳ノ執ツテ居ル方針ト
云フヤウナモノハ、アノ方針ハ全クアベコ
ヘノ方針デアル、サウ思フノデアリマスガ、
其考ヲ承ツテ置キタイト思ヒマスガ、殊ニ現
ニ執リツ、アル產業組合ニ對スル色々ナ壓
迫ノ態度、此彈壓ノ態度ハ速ニ之ヲ改メラ
レルヤウニ考ヘラレタイ、之ヲ承ツテ置キ
タイト思フノデアリマス

其次ハ權太農村ノ更生モ内地同様ニヤハ
リ産業組合ヲ基準トシタ、所謂産業組合ヲ
中権機關トシテ使フ所ノ更生計畫デナケ
ルモノニ對シテハ悉ク補助ヲセヌ、而シテ
其他色々ノ點デ甚シキ彈壓ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、當局ノ所見如何デアリマスカ、
當局ハ單ニ表面ヲ繕ウテ無理押シヲスル、
サウ云フヤウナコトヲスルノデナク、何人
が見テモ公平ナ處置ヲ執ツテ、補助ノ金額ノ
足ラヌヤウナ時ニハ、寧口資本家ニ與ヘル
分ハ後廻シニシテモ、アノ極北ノ地デ惠マ
レザル自然ノ惡條件ノ下ニ於テ奮闘シテ居
ル農民ヲ營利資本家ノ擰取ノ對象物ニシテシ
マフ、サウ云フヤウナ政策ハ考ヘ直シテ戴
カナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、
此點ニ付キマシテ、權太廳ノ指導方針ナル
モノヲ一つ改メテ戴クコトガ出來ナイカ、
其考ヲ承ツテ置キタイト思ヒマスガ、殊ニ現
ニ執リツ、アル產業組合ニ對スル色々ナ壓
迫ノ態度、此彈壓ノ態度ハ速ニ之ヲ改メラ
レルヤウニ考ヘラレタイ、之ヲ承ツテ置キ
タイト思フノデアリマス

ノ點ハ酪農組合ノ問題デアルト思ヒマス、樺太ニハ約七十程ノ産業組合ガアリマス、其中酪農事業ヲヤツテ居リマス、組合ハ多分七ツカト存ジテ居リマス、御話ノ通り樺太ノ農業トシテハ、飽マデモ有畜農業デナケレバナラヌノデアリマス、隨テ畜産ノ獎勵ニ對シテハ、全力ヲ擧ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、只今ノ酪農事業デアリマスガ、是ハ北海道ト違ヒマシテ、非常ニ樺太ハ新シイノデアリマス、大體明治四十二年頃カト思ヒマスガ、其當時個人ニ依ツテ始メラレマシテ、漸ク昭和元年頃ニ組合ノ組織ヲ致シタノデアリマス、只今ハ二十二三万封度ノ製造ダト思ヒマスガ、何分樺太ノ地形ハ御承知ノ通り非常ニ狹小デアリマシテ、北海道ト違シテ、纏シテ居ル場所ガ非常ニ少イノデアリマス、隨テ酪農工場ノ如キモ、十七八箇所ニ及ンデ居ルト思ヒマス、其結果製品ガ非常ニ不統一デアリマス、然ルニ北海道ノ方ハ只今モ申ス通り隨分古クモアリ、又製品モ多クアリ、且ツ販賣系統モソレバ、出來テ居ルノデアリマスカラ、其間ニ處シテ、樺太ノ「バター」ヲ販賣スルト云フコトハ中々容易デハナイノ

デアリマス、ソレガ爲ニ酪農組合ノ成績ガ一向舉ラヌ、年々多額ノ補助ハ致シテ居リマスケレドモ、結局缺損倒レダ、之ヲ何トカ變ヘネバナラヌト云フヤウニ色々考究致シテ居ツタノデアリマスガ、昭和十年頃ニナリマシテ、其「ストック」ガ非常ニ多クナッタノデアリマス、已ムヲ得ズ、之ヲ何等カノ方法デ處分シナケレバナラヌト思フ矢先ニ於キマシテ、明治製糖ノ方ニ是ガ販賣方ヲ實ハ申込ンダノデアリマス、所ガ先刻モ申上ゲル通り、製品ガ非常ニ不統一デアリ、且又其規模ガ非常ニ小サイ爲ニ、生產費モ非常ニ多額ニ掛リ、之ヲ改良スル爲ニハドウシテモ相當ノ設備ヲシナケレバ改良ガ出来ナイ、所ガ樺太ノ方ノ組合トシテハソレダケノ力ガアリマセヌノデ、結局明治製糖會社ノ方デモ之ヲ自分ノ方デ買收シタイ、斯ウシテ出來ルダケノ改良ヲ致シタイ、斯クシテ若シ其「バター」ガ多數ニ生產サレルト云フコトニナリマスレバ、隨テ牛乳モ段々サヘ宜ケレバ考ヘテ見テモ宜カラウト云フ風ニ致シタノガ昭和十年デアリマスガ、爾來酪農組合ノ希望スル所ハ何處ニアルカ、ソレヲ聞クコトガ先ツ大事ダラウト云フ考デ、

酪農組合長ノ聯合會ヲ開イタノデアリマス、サウスルト、酪農組合ノ方デハ、自分等トシテハ勿論牛モ殖ヤシタイ、牛乳モ多ク搾リタイ、併ナガラドウモ資金ガナイ、デアルリタイ、斯ウ云フ御話デアリマシタカラ、買ツテ呉レ、且又其乳價ヲ所謂資本家ノ横暴ニ依ツテ蹊躡セラレルガ如キコトハ困ル、デアルカラ少クトモ北海道ヨリ高ク買ツテ欲シイ、當時北海道ヨリハ安カツタノデアリマス、アルカラ少クトモ北海道ヨリ高ク買ツテ欲シイ、當時北海道ヨリハ安カツタノデアリマス、ソレデ裁定シテ貰フ、サウシテ資本家ノ横暴ヲソレデ北海道ヨリ高ク買ツテ欲シイ、若シ又抑ヘテ貰フ、サウ云フ風ニシテ戴カナケレバ、私共トシテモ更生ノ途ガ付カヌ、斯ウ云フ風ニ意見ガ大體一致シタノデアリマス、所ガ豊原ノ酪農組合ト、ソレカラ小能登呂所が豊原ノ酪農組合ト、ソレカラ小能登呂ノ産業組合ノ一部トハ之ニ一致シナイ、斯クシテ此問題ハ昭和十二年ノ一月ニ契約ガ出来タト思ヒマス、其結果乳價ノ如キモ樺太長官ハヌト云フヤウナコトヲ契約致シマシテ、サウシテ此問題ハ昭和十二年ノ一月ニ契約ガ出来タト思ヒマス、其結果乳價モ契約前ハ九錢幾ラニ値段ガ上ツテ居リマスシ、斯様ナ次第樺太ノヤウナ資力ノ乏シイ所デヘ、先づ主トシテ農民ノ方ニハ畜牛ノ増殖及ビ牛乳ノ多産ト云フコトニ全効注ギマシテ、サウシテ製造ノ方ハ明治製糖會社——今日ハ明治製糖會社デハアリマセヌ、ソレノ傍系ニナッテ居リマス

ノデアリマス、樺太製糖會社ノ方ハ、是ハノデアリマス、樺太製糖會社ニ之ヲヤラセルコトニ致シタノデ、小能登呂ノ酪農者ハ是モ自能登呂ノ産業組合ノ一部ハ、産業組合ト畜付テモ東京ノ一二ノ商店ト特約ガアルノデアルカラ、自分ノ方ハ入リタクナイ、又小苦心シテコ、迄來テ居ルシ、又販賣スルニシテ農民ノ方ニハ畜牛ノ増殖及ビ牛乳ノ多産ト云フコトニ全効注ギマシテ、サウシテ製造ノ方ハ明治製糖會社——今日ハ明治製糖會社デハアリマセヌ、ソレノ傍系ニナッテ居リマス

北海道ト達ヒマシテ、實ハ之ヲ作リマシタ
ノモ昭和十年デアリマス、其株ノ三分ノ二
ハ明治製糖會社ガ有ツテ居リマス、又此「ビー
ト」ヲヤリマス時ニ、明治製糖會社ノ方デハ
北海道ト同ジヤウニ分工場ニシテ貰ヒタイ
ト云フ御話デアリマシタケレドモ、分工場
ニ致シマストドウシテモ監督ガ行届カヌ、
ソコデ獨立ノ會社トシテ樺太ニ設立サセマ
シテ、而モ其株ハ出來ルダケ樺太島民ニ持
タセヨウ、殊ニ農民ニ持タセヨウト云フコ
トニ致シマシテ、募集致シマシタガ、中々
資力ガ乏シイ爲ニ思フヤウニハ參リマセヌ
ノデ、ソレデモ六七千株ト云フモノハ樺太
ノ農民及ビ其他ノ者ノ手ニ入ツタノデアリ
マス、今後ニ於キマシテモ三分ノ一定程度マ
デハ樺太ノ興農會ナリ或ハ「ビート」耕作者ニ
何時デモ拂込ノ價格ヲ以テ渡シテ宜シイ、
斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、サウ
シテ此會社ヲ内輪カラ牽制シ、樺太長官ガ
ノ増殖ヲ圖ラセ、農民ガ乳牛ヲ増殖シサヘ
スレバ、ソレヲ製糖會社ノ方デ製品ニシテ
販賣スル、斯ウ云フ云フコトニ致シマシ
タ、ソコデ其後ノ經過ヲ見マスルト、非常
ニ農民ハ喜ンデ居リマス、今御話ノ工場ハ

甚ダ氣ノ毒デアリマシタケレドモ、其後焼失致シマシテ、實ハソレノ候補地ニ付テハ小能登呂ノ者ガ樺太廳へ參リマシタケレドモ此際改メテ、何トカ致シマスト言ッテ今マデ甚ダ間違ツタ行動ヲ執ツテ居リマンシタモ此際改メテ、何トカ致シマスト言ッテ會社ニ酪農事業ヲ譲渡シマシタ結果、從來酪農ノ製造ニ對シテ補助ヲ致シテ居リマシタモノヲ其補助ヲ止メテ、之ヲ農家ノ畜產ノ増殖或ハ飼糧ノ改良ト云フヤウナ方面ニ持ツテ行キタイ、ソレカラ農業倉庫ノ話ガアリマシタガ、是ハ一回補助ヲシタ村ニハ他ノ方ノ新シイモノガ濟マナイ内ハ補助セヌコトニナツテ居リマス、ソレガ爲ニ農業倉庫ニ付テ補助セヌノデアリマス、ソレカラ製酪品ノ製造許可ト云フコトガアリマシタガ、是ハ自由ニ出來ルノデアリマシテ、何モ許可ヲ要サヌノデアマリス、機械、器具ヘノ補助ト云フコトガアリマシタガ、是モニナリマシタカラ、一般ニ補助セヌ、斯ウ云今言フ通リ乳酪事業ヲ會社ノ方デヤルコトニコトニ致シマシタ、其代リ乳牛ノ少イ所ニハ今後ドンヽ補助シテ行カウ、要スルニ只今マデ樺太廳ト致シマシテハ、農村ノ實情カラ見マシテ、成ベク畜産ノ増殖ヲ圖リ、

サウシテサウ云フ危險ノアル所ニハ——甚
ダ言過ギルカモ知レマセヌガ、面倒ナ乳酪
ノ販賣デアルトカ、或ハ乳酪ノ製造デアル
ト云フヤウナコトハ其方ノ専門家ニ委セ
ル、斯ウ云フコトニシテ居リマス、尙ホ先
刻樺太廳ノ役人ガ云々ト云フ御話ガアリマ
シタガ、是ハ何カノ御間違デハナイカト思
ヒマス、其製糖會社ガ出來タ時ニ「ビート」ノ
指導ト云フヤウナ見地カラ農務課長ガ入ッ
タノデアリマス、併シ是ハ會社ガ出來タノ
ハ昭和十年デアリマス、二年間モ官舍ニ居ツ
タト云フコトハ全然アリマセヌ、無論會社
ノ方ニ社宅ガ出來ルト同時ニ其處ヘ移ッテ
居リマスシ、社宅ノ出來ナイ前ニモ借家ヲ
致シテ居リマシタ、或ハ二三箇月位ハ居ツタ
カモ知レマセヌガ、二年間モ其官舍ニ住ン
デ居ツタト云フヤウナ事實ハアリマセヌ、又
是ハ假令元ハ官吏デアリマシテモ、會社ニ
入ッタ以上ハ、決シテ役所ノ仕事ニハ容喙ハ
サセマセヌ、其間ノ混同ト云フコトハ絶對
ニナイコトヲ確信致シマス、是ダケ御答致
シマス

ノ製酪竈ニ販賣ノ權利ヲ賣ッテシマツタ、ソレガ權太ノ農民ニ有利ナリト云フ工合ニ解釋シテ居ラレルヤウデアリマスガ、併シ是必ズ後カラ搾取シナイデハ承知スルモノデハアリマセヌ、ソンナ世間ニ通ジナイ通念ノ下ニサウ云フヤウナコトヲ御ヤリニナルト云フコトハ、是ハ大變ナ間違ヒデアリマス、營利會社ト云フモノハソナモノデハナイ、儲ケルノガ本位デアリマスカラ、決シテ權太ノ農民ニ特別ノ恩惠ヲ與ヘテ、サウシテ自分ノ會社ハ損ヲシテ迄ヤルト云フコトハ絶對ニアリマセヌ、又牛乳代金ノ開キノ如キモ、私ハスッカリ調べテアリマスガ、ソンナコトハ兎ニ角トシテ、サウ云フヤウニ權太内ニ於テ産業組合デ立ツテ行カウト云フモノガアル場合ニ、之ニ對シテ差別待遇ヲスルト云フヤウナコトハ、私ハ宜シクナイト思フ、ソンナヤウナ差別待遇ヲシテ色々ナ事ヲ言ツテ表面ヲ繕ツテ居ラレル、現ニ或ル村ニ對シテハ、二度モ三度モヤツテ居ル、其先ノ村ニ行ケバヤツテ居ラヌ、ソレカラ乳製品ノ如キモ許可ハ要ラストト言ハレルガ、許可ガ要ラヌナラバ尙更怪シカラヌ、巡査ヲヤツテ許可ガ要ルト

言ツテ止メテ居ル、樺太長官ハ警察權ヲ持ツテ居リマスガ、左様ナ色々ナ事ヲヤツテ居ル、又私ハ行ツテ調べテ驚イタ、或ハ水ニ付テモサウデアツテ、開拓地デアリマスカラ、普通道路ノ下ヲ土管ヲ通シ、水ヲ通シテヤツテ居リマスガ、他ノ所ハ皆許シテ居ルガ、其處ダケハピツタリ止メテ居ル、實ニ意地ノ惡イ事ヲシテ水ヲヤラヌヤウニシテ居ル、ソレカラ今小能登呂ノ者ガアヤマツテ來テ居ルト云フガ、ソレハサウ云フヤウナ樺太廳ノ彈壓ニ依ツテ、ドウシテモ敵ハナイカラ、不滿ハ十分持ツテ居ルケレドモ、アヤマツタナイコトダト思ツテ居リマス、アレダケ盛ニ自主的ニヤラナケレバナラスト言ツテ居ツタ連中ガ、ソンナニ急角度ニ變ツテ行クモノデハナイ、殊ニ驚クベキハ、私ガ去年調査ニ行ツタ時ニハ、私ノ行ツタ跡ニ全部刑事ヲ遣ツテ居ル、ソンナ事ヲヤツテ彈壓シテ居ル如何ニ開拓地ト雖モ、ソンナ極端ナコトヲヤツタ例ヲ見タコトハ誰モナカラウト思フ、アナタハソレヲ御存ジナイ、下僚ノ官僚ガ際見テ來タ、見テ驚イタ、長官ガ今言アナタノ爲ニ都合ノ好イヤウナコトバカリ報告シテ居ル、實際ヲ御覽ナサイ、私ハ實ハレルコトハ唯表面ヲ繕ツテ居ルコトデ、ソ

レハ事實ト斷ジテ違ツテ居ル、マアソンナコ
トハ兎ニ角トシテ、今後ニ於キマシテハ、
樺太廳ハ此產業組合ガ自主的ニヤラウト云
フモノニ對シテ、彈壓ヲ加ヘタリ、差別的
待遇ヲナサルカナサラヌカト云フコトガ、
待遇ヲ第一ニ伺ツテ置カナケレバナラヌ點デ
アリマス

更ニモウ一ツ伺ツテ置カナケレバナラヌ
點ハ、樺太廳ハ、産業組合ヲ農村更生ノ中
樞機關トシテ御ヤリニナル積リデアルカド
ウカ、營利資本家ニ頼ツテヤラセル積リデア
ルカドウカ、産業組合ヲ中樞ニシテヤルナ

タコトヲヒドイト思ハレテ、之ヲ改メラレルカドウカ、又モウ一ツノ問題ハ、五年間ヘナイ、而モ會社側ニ附イテ居ル者ニ對シテハ、脂肪一「バーセント」八厘ノ補助ヲ與ヘテ居ル、然ルニサウデナイ方ニハ與ヘテ居ラヌ、サウスルト會社ニ補助ヲ與ヘテ居ルト同ジデアリマス、而シテ産業組合デヤルト云フモノハ難カシイ所ニ押込メツ、アル所ノ此態度ヲ改メラレルカドウカ、之ヲ伺ッテ置キマス

ニ比較致シマスルト非常ニ數量モ少ナイノ
デアリマス、左様ナ状態デアリマスカラ先
ヅ牛ヲ殖ヤス、牛ヲ改良スルコトガ先決問
題デアリマス、結局今回酪農事業ヲ會社ニ
委譲致シマシテ、畜産ノ方ニ專念サセルコ
トモ、農民ノ利益ト云フコトヲ考ヘテヤッテ
居ル仕事デアリマシテ、決シテ營利會社ニ
擰取サセルト云フヤウナ考ハ毛頭アリマセ
ヌ、先刻モ申上ゲマシタ通り、其利益ヲ北
海道ヨリモ決シテ低下サセヌシ、又値段ノ
協定ガ纏ラヌ場合ニ於キマシテハ、樺太長
官ガ之ヲ決定スルト云フコトニ致シテ居ル
ヤウナ場合ニ於キマシテハ、其建物其他ノ
モノヲ半額又ハ無償デ會社ノ方ニ返還スル
ト云フコトマデモ附加ヘテ居ルノデアリマ
シテ、決シテ會社ダケヲ守護スルト云フ考
ハ毛頭ナイノデアリマス、營利會社デアリ
マスカラ勿論損ハ致シマスマイガ、一面ニ
於テ此會社ハ所謂樺太製糖會社デアリマシ
テ、北海道ノ製糖會社ノ分工場デハナイノ
デアリマス、又此製糖會社ハ製糖事業ヲヤ
ルノデアリマスカラ、其方面ニ於テ樺太ニ於ケ
トヲ名義トシテ此會社ガ生レテ居ルノデア

リマスカラ、私ノ方デモ十分ニ監督シテ、御心配ノナイヤウニ致シタイト存ジマス、又他ノ産業組合、殊ニ農產物ヲ扱ッテ居リマスル利用販賣ノ組合ガアリマスガ、之ニ對シマシテハ出來ルダケノ助成ヲ致シマシテ、農村ノ振興ヲ圖リツ、アル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス○北委員 私ハ實ハ権太廳ニ御寄リヲシマシテ、詳シク調べタ事情ヲ申上ゲタ、丁度長官ハ御留守デ、殖產部長ガオ居デニナリマシタノデ、部長ニ私詳シク申上ゲマシタ、サウ云フ非違ナ點ハ改メルト云フコトデアリマシタ、更ニモウ一ツ小能登呂組合ノ屬シテ居リマス眞岡支廳ニ態、行ツテ、支廳長ニ會ツテ此事ヲ言ツタラ斯ウ云フ點ハ改メル、私ノ言ツタコトニ對シテハ是認ラシテ居ツタ、サウ云フ點ハ改メルト言ツタケレドモ、改メルドコロデハナイ、私ノ歸ツタ後、デ刑事ヲ派シテ、農民ライヂメテシマッタ、斯ウ云フヤウナ結果ガ現ハレテ來テ居ルノデアリマス、產業組合ノ問題ニ對シマシテハ是以上私ハ申上ゲマセヌガ、ドウゾ一ツ私ノ趣意ノアル所ヲ御諒察ヲ願ツテ置キタイノデアリマス、私ノ質問ハ是デ終リマス、

特ニ沿岸漁業ニ對スル施設ニ對シテ政府當局ノ意向ヲ明ニシテ欲シイト思フノデアリマス、第一ニ御尋シタインハ、漁村ノ窮乏——私ガ此處デ漁村ト云フ言葉ヲ使フコトハ、申上ゲル迄モナク所謂沿岸漁業ヲ行ツテ居ル漁村ヲ意味スルノデアリマスガ、特ニ其漁村ニ於ケル中小産業階級ヲ要素トシテ居ル沿岸漁業ノ窮迫振リト云フコトハ、流石政府デモ最近認識シテ來テ居ルコトハシリマス、今度ノ漁業組合法ノ改正ト同時ニ、漁業組合中央金庫制ヲ作ルトハ言フモノノ、窮迫振リニ對スル根本的ノ對策ニハナッテデハ、實ヲ云フト今日ノ日本ノ沿岸漁業ノ居ナイ、中途半端、一時遁レデアル、此點ハ此前ノ議會ノ建議委員會デ、水產局長ノ私ハ御意見ヲ承ツタノデスガ、結局出テ來タモノハ中途半端ナモノダト云フ風ニシカ考ヘラレナ、漁村ノ今日窮乏シテ居ルト云フコトハ御承知ト思ヒマスガ、第一ハ沿岸漁業ノ著シイ不漁ト云フコトデス、第二ハ全、不滿足ト云フ此三ツヲ大體漁民ハ原因トシテ舉ゲテ居ル、是ハ認メザルヲ得ナイ、テ居ルト云フコト、第三ハ漁村金融ノ不完

第一ノ沿岸漁業ノ著シイ、不漁、即チ魚ガ獲レナイト云フコトハ、恰モ之ヲ自然ノ罪ナヤウニ兎角シテ居ルガ、私共ハサウデハ「タイアップ」シテ今日ノ魚ノ獲レナイ、魚ガ居ルノダカラ、例ヘバ定著性ノ魚族ナラ其處ニ居ナイ、荒廢シテ漁場ニナラナイ、況ヤ回游性ノ鰯トカ鮒トスレバ、ソレガ沿岸ヲ回游セズ、寄附イテ來ナイ、此點ニ關シテ漁村對策ガ漁業組合法中改正法律案トシテ現ハレル、ソレカラ産業組合中央金庫制ニ吾々ガ多年要望シテ居ツタモノガ附加ヘラレルト云フノデスケレドモ、此沿岸漁業窮乏打開策ノ根本ニ付テ、一體農林當局ハ對策ヲドンナ形式デ今行ツテ居リマスカ、同時ニソレガドノ位ノ金デヤラレテ居ルカ、此點ハ質問ガ中途デスカラ、私ハ特ニ水產局長ノ御考ヲ伺ヒタイ

云フ方策ヲ現ニ執ツテ居ルカト云フ御話デ
アリマスガ、現在行ツテ居ルモノト致シマス
レバ、本年度カラ行ツテ居リマスル機船底曳
網漁業ノ整理ト云フコトニ依ル沿岸漁業ノ
保護、ソレカラ、海面デ申シマスレバ、魚
族ノ増殖ト云フ點ヲ、最近ニ積極的ニ始メ
テ居ルト云フ程度デアリマス、但シ今後ニ
於テヘドウ云フ風ニシナケレバナラヌカト
云フコトニ付テハ、實ハ考ヲ持ツテ居ラヌ
ノデハゴザイマセヌガ、一方ニ於キマシテ
自然的ノ原因ニ依ル不漁モゴザイマスシ、
又工場ノ汚水其他ニ依リマシテ漁場ガ荒廢
シテ行クモノガ多イノデゴザイマス、私共、
ト致シマシテハ沿岸ノ漁場ニ付テハ、先日
西川サンカラ仰セニナリマシタ通り、今日
ニ於キマシテハ地先キノ水面ヲ以テ其生計
ノ大部分ニ充テルト云フコトハ時代ノ變遷
デ参ラヌト思フノデアリマスケレドモ、此
制度ノ改正ニ依リマシテ、言換ヘマスレバ
共通水面ガ非常ニ入り合ツテ利用サレテ居
リマス所ヲ調整スルコトニ依リマシテ、現
在ヨリモ單位面積ニ於キマシテ相當增收ニ
ナルヤウナコトモアラウト考ヘマシテ、之
ヲ豫算ニ計上シタヤウナ關係モアルノデア
リマス、併シ色々々ノ事情デ實現出來ナイコ
トニナツテ居リマス、私共ハ之ヲ沿岸漁業調

整ト云フヤウナ言葉ヲ私共限リデ使ッテ居ルノアリマスガ、或ハ今一步先ノ方へ出マスレバ魚族モ回游シテ居ルノデアラウケレドモ、是等ノ點モ十分ニ調査ノ出來ナイ現狀デアリマス、是モ此間御話ニナリマシタ通り、地方々々ノ試驗場ノ施設ヲ擴充致シマシテ、是等ノ漁利ヲ逸シナイヤウニシヨウト云フコトモ、是カラ進ンデ行ク大キナモノデアラカト存ジマス、其他色々トゴザイマセウケレドモ、一應ソレダケ御答シテ置キマス

○喜多委員 承ルト云フト、戦争デ出來ヌ

ト云フ結論ニナツテ甚ダ遺憾デアリマスガ、大體是ハ戦争ガナクトモ、今日ニナラナクトモ、私ノ方カラ言フト、モット早ク農林當局ハヤラナケレバナラスト思ヒマス、丁度大臣ガ御見エニナリマシタガ、私ハ實ヲ言フト、餘程物ノ判ッタ大臣ダト思ッテ吾々ハ期待シテ居ツタノデアリマス、所ガ「事變」ト農村」ト云フ立派ナ本ヲ讀マシテ戴クト、之ヲ見タグケデモ、漁村ニ付テハ、百九十頁ニ近イ中ニ、我輩ハ大イニ局ニ當ッテ時節柄日本ノ漁村ニ期待ヲ掛ケルト言ハレテ、七頁シカ使ツテ居ラレナイ、其中ヲ讀ムト有馬サンニモ似合ヘナイ、ドウモ漁民ハ板子一枚下ヘ地獄ト云フ氣持ガ抜ケテ居

ナイヤウダカラ貯蓄心ガナイ、ト云フヤウナコトハ、是ハ此頃ノ漁師ヲ知ラヌノデス、折角ノ本ヲ私ハ讀ンデ、前ノ方ハ非常ニ良いナト思ツテ居ツタガ、最後ノ此處へ來ルト、言換ヘルト、農林大臣ノ沿岸漁業ニ對スル認識不足ト云フヨリモ、徹底的ニ是ハ落第アル、寧ロ付ケナケレバ宜カツト實ハ思フ位デアル、是ガ私ハ今日ノ農林當局ノ水産行政ニ對スル考ガ、日本全體ニ反映シテ居ル大キナ證據ダト思フ、是ハ委員長モ、此處ニ居ル高木長老アタリデモ、西川君デモ贊成シテ居ル、是ガイカヌト思フノデス、私ハ今後ニ於ケル對策ハ、一步ヲ進メレバ沿岸漁業調整ト云フヤウナコトガ、必要ナコトダントモ、私ノ方カラ言フト、モット早ク農林當局ハヤラナケレバナラスト思ヒマス、丁度大臣ガ御見エニナリマシタガ、私ハ實ヲ言フト、餘程物ノ判ッタ大臣ダト思ッテ吾々ハ期待シテ居ツタノデアリマス、所ガ「事變」ト農村」ト云フ立派ナ本ヲ讀マシテ戴クト、之ヲ見タグケデモ、漁村ニ付テハ、百九十頁ニ近イ中ニ、我輩ハ大イニ局ニ當ッテ時節柄日本ノ漁村ニ期待ヲ掛ケルト言ハレテ、七頁シカ使ツテ居ラレナイ、其中ヲ讀ムト有馬サンニモ似合ヘナイ、ドウモ漁民ハ板子一枚下ヘ地獄ト云フ氣持ガ抜ケテ居

ナイヤウダカラ貯蓄心ガナイ、ト云フヤウナコトハ、是ハ此頃ノ漁師ヲ知ラヌノデス、折角ノ本ヲ私ハ讀ンデ、前ノ方ハ非常ニ良いナト思ツテ居ツタガ、最後ノ此處へ來ルト、言換ヘルト、農林大臣ノ沿岸漁業ニ對スル認識不足ト云フヨリモ、徹底的ニ是ハ落第アル、寧ロ付ケナケレバ宜カツト實ハ思フ位デアル、是ガ私ハ今日ノ農林當局ノ水産行政ニ對スル考ガ、日本全體ニ反映シテ居ル大キナ證據ダト思フ、是ハ委員長モ、此處ニ居ル高木長老アタリデモ、西川君デモ贊成シテ居ル、是ガイカヌト思フノデス、私ハ今後ニ於ケル對策ハ、一步ヲ進メレバ沿岸漁業調整ト云フヤウナコトガ、必要ナコトダントモ、私ノ方カラ言フト、モット早ク農林當局ハヤラナケレバナラスト思ヒマス、丁度大臣ガ御見エニナリマシタガ、私ハ實ヲ言フト、餘程物ノ判ッタ大臣ダト思ッテ吾々ハ期待シテ居ツタノデアリマス、所ガ「事變」ト農村」ト云フ立派ナ本ヲ讀マシテ戴クト、之ヲ見タグケデモ、漁村ニ付テハ、百九十頁ニ近イ中ニ、我輩ハ大イニ局ニ當ッテ時節柄日本ノ漁村ニ期待ヲ掛ケルト言ハレテ、七頁シカ使ツテ居ラレナイ、其中ヲ讀ムト有馬サンニモ似合ヘナイ、ドウモ漁民ハ板子一枚下ヘ地獄ト云フ氣持ガ抜ケテ居

ナイヤウダカラ貯蓄心ガナイ、ト云フヤウナコトハ、是ハ此頃ノ漁師ヲ知ラヌノデス、折角ノ本ヲ私ハ讀ンデ、前ノ方ハ非常ニ良いナト思ツテ居ツタガ、最後ノ此處へ來ルト、言換ヘルト、農林大臣ノ沿岸漁業ニ對スル認識不足ト云フヨリモ、徹底的ニ是ハ落第アル、寧ロ付ケナケレバ宜カツト實ハ思フ位デアル、是ガ私ハ今日ノ農林當局ノ水産行政ニ對スル考ガ、日本全體ニ反映シテ居ル大キナ證據ダト思フ、是ハ委員長モ、此處ニ居ル高木長老アタリデモ、西川君デモ贊成シテ居ル、是ガイカヌト思フノデス、私ハ今後ニ於ケル對策ハ、一步ヲ進メレバ沿岸漁業調整ト云フヤウナコトガ、必要ナコトダントモ、私ノ方カラ言フト、モット早ク農林當局ハヤラナケレバナラスト思ヒマス、丁度大臣ガ御見エニナリマシタガ、私ハ實ヲ言フト、餘程物ノ判ッタ大臣ダト思ッテ吾々ハ期待シテ居ツタノデアリマス、所ガ「事變」ト農村」ト云フ立派ナ本ヲ讀マシテ戴クト、之ヲ見タグケデモ、漁村ニ付テハ、百九十頁ニ近イ中ニ、我輩ハ大イニ局ニ當ッテ時節柄日本ノ漁村ニ期待ヲ掛ケルト言ハレテ、七頁シカ使ツテ居ラレナイ、其中ヲ讀ムト有馬サンニモ似合ヘナイ、ドウモ漁民ハ板子一枚下ヘ地獄ト云フ氣持ガ抜ケテ居

ナイヤウダカラ貯蓄心ガナイ、ト云フヤウナコトハ、是ハ此頃ノ漁師ヲ知ラヌノデス、折角ノ本ヲ私ハ讀ンデ、前ノ方ハ非常ニ良いナト思ツテ居ツタガ、最後ノ此處へ來ルト、言換ヘルト、農林大臣ノ沿岸漁業ニ對スル認識不足ト云フヨリモ、徹底的ニ是ハ落第アル、寧ロ付ケナケレバ宜カツト實ハ思フ位デアル、是ガ私ハ今日ノ農林當局ノ水産行政ニ對スル考ガ、日本全體ニ反映シテ居ル大キナ證據ダト思フ、是ハ委員長モ、此處ニ居ル高木長老アタリデモ、西川君デモ贊成シテ居ル、是ガイカヌト思フノデス、私ハ今後ニ於ケル對策ハ、一步ヲ進メレバ沿岸漁業調整ト云フヤウナコトガ、必要ナコトダントモ、私ノ方カラ言フト、モット早ク農林當局ハヤラナケレバナラスト思ヒマス、丁度大臣ガ御見エニナリマシタガ、私ハ實ヲ言フト、餘程物ノ判ッタ大臣ダト思ッテ吾々ハ期待シテ居ツタノデアリマス、所ガ「事變」ト農村」ト云フ立派ナ本ヲ讀マシテ戴クト、之ヲ見タグケデモ、漁村ニ付テハ、百九十頁ニ近イ中ニ、我輩ハ大イニ局ニ當ッテ時節柄日本ノ漁村ニ期待ヲ掛ケルト言ハレテ、七頁シカ使ツテ居ラレナイ、其中ヲ讀ムト有馬サンニモ似合ヘナイ、ドウモ漁民ハ板子一枚下ヘ地獄ト云フ氣持ガ抜ケテ居

ナイヤウダカラ貯蓄心ガナイ、ト云フヤウナコトハ、是ハ此頃ノ漁師ヲ知ラヌノデス、折角ノ本ヲ私ハ讀ンデ、前ノ方ハ非常ニ良いナト思ツテ居ツタガ、最後ノ此處へ來ルト、言換ヘルト、農林大臣ノ沿岸漁業ニ對スル認識不足ト云フヨリモ、徹底的ニ是ハ落第アル、寧ロ付ケナケレバ宜カツト實ハ思フ位デアル、是ガ私ハ今日ノ農林當局ノ水産行政ニ對スル考ガ、日本全體ニ反映シテ居ル大キナ證據ダト思フ、是ハ委員長モ、此處ニ居ル高木長老アタリデモ、西川君デモ贊成シテ居ル、是ガイカヌト思フノデス、私ハ今後ニ於ケル對策ハ、一步ヲ進メレバ沿岸漁業調整ト云フヤウナコトガ、必要ナコトダントモ、私ノ方カラ言フト、モット早ク農林當局ハヤラナケレバナラスト思ヒマス、丁度大臣ガ御見エニナリマシタガ、私ハ實ヲ言フト、餘程物ノ判ッタ大臣ダト思ッテ吾々ハ期待シテ居ツタノデアリマス、所ガ「事變」ト農村」ト云フ立派ナ本ヲ讀マシテ戴クト、之ヲ見タグケデモ、漁村ニ付テハ、百九十頁ニ近イ中ニ、我輩ハ大イニ局ニ當ッテ時節柄日本ノ漁村ニ期待ヲ掛ケルト言ハレテ、七頁シカ使ツテ居ラレナイ、其中ヲ讀ムト有馬サンニモ似合ヘナイ、ドウモ漁民ハ板子一枚下ヘ地獄ト云フ氣持ガ抜ケテ居

ナイヤウダカラ貯蓄心ガナイ、ト云フヤウナコトハ、是ハ此頃ノ漁師ヲ知ラヌノデス、折角ノ本ヲ私ハ讀ンデ、前ノ方ハ非常ニ良いナト思ツテ居ツタガ、最後ノ此處へ來ルト、言換ヘルト、農林大臣ノ沿岸漁業ニ對スル認識不足ト云フヨリモ、徹底的ニ是ハ落第アル、寧ロ付ケナケレバ宜カツト實ハ思フ位デアル、是ガ私ハ今日ノ農林當局ノ水産行政ニ對スル考ガ、日本全體ニ反映シテ居ル大キナ證據ダト思フ、是ハ委員長モ、此處ニ居ル高木長老アタリデモ、西川君デモ贊成シテ居ル、是ガイカヌト思フノデス、私ハ今後ニ於ケル對策ハ、一步ヲ進メレバ沿岸漁業調整ト云フヤウナコトガ、必要ナコトダントモ、私ノ方カラ言フト、モット早ク農林當局ハヤラナケレバナラスト思ヒマス、丁度大臣ガ御見エニナリマシタガ、私ハ實ヲ言フト、餘程物ノ判ッタ大臣ダト思ッテ吾々ハ期待シテ居ツタノデアリマス、所ガ「事變」ト農村」ト云フ立派ナ本ヲ讀マシテ戴クト、之ヲ見タグケデモ、漁村ニ付テハ、百九十頁ニ近イ中ニ、我輩ハ大イニ局ニ當ッテ時節柄日本ノ漁村ニ期待ヲ掛ケルト言ハレテ、七頁シカ使ツテ居ラレナイ、其中ヲ讀ムト有馬サンニモ似合ヘナイ、ドウモ漁民ハ板子一枚下ヘ地獄ト云フ氣持ガ抜ケテ居

從來農村ノ問題ニ付テハ相當色々ナ方面ニ瓦ツテ、研究モサレ、又色々ナ施設モ講ゼラレテ居タノデアリマスガ、漁村ト山村ト云フモノニ付テハ、今日マデ割合ニ閑却サレテ來タノデハナイカ、水產ト云フ事柄ハ只今御述ベニナリマシタヤウニ、日本ノ富ノ増進ト言ヒマスカ、國際收支ノ關係ヲ出來ルダケ良好ニスルト云フ意味カラ、水產業ト云フモノハ考ヘラレタ、其結果ガ所謂遠洋漁業ナリ、資本主義的ナ漁業ト云フモノニ、力ヲ注ガレタト云フ結果ニナッタノダラウト思フノデアリマス、其國富ノ増進ト云フカ、貿易關係ノ發達ト云フヤウナ見地カラ、漁業ニ力ヲ入レラレタト云フ其結果ガ、今日逆ニ沿岸漁業、所謂漁村ト云フモノニ對シテ、非常ナ不利ナ狀態ヲ生ジタノデハナカラウカト思フノデアリマス、ソレデ先般モ一寸申上ゲタコトガアリマスガ、在來ノ資本主義的ナ漁業ト云フヤウナ方面ニ對シテハ、今後國ガサウ積極的ニ援助シナケレバナラスト云フヤウナ狀況ニハナイト思フノデアリマス、其方面ハ寧ロ自然ノ發達ニ任セルト云フコトデ宜イノデヤナイカト思フノデアリマス、寧ロ之ヲ統制ラシ、監督ラスルト云フ方面ニ力ヲ入レル程度デ

申シマスト、只今水產局長カラ申上ゲマシタヤウニ、所謂沿岸漁業ノ保護ト申シマスカ、又漁村ノ繁榮ト云フ方面ニ、ドウシテフモノガ入レラレナケレバナラスト云フコトハ、私農林省ニ入リマンタ當初ニ、山村問題ト同時ニ考ヘタノデアリマス、唯併シ自分シク知ラナイモノデアリマスカラ、サウ云フ本ヲ書キマス場合ニ——書キマシタ譯デハアリマセヌガ——サウ云フ場合ニ、非常ニ貢ガ少クテ甚ダ恐縮デアリマス、實際政ニ頁ガ少クテ甚ダ恐縮デアリマス、實際政策ノ貧困ヲ物語ツテ居ルノカモ知レマセヌガ、唯併シ漁村、山村ト云フコトニ付テ、農林省ハ今後一層ノ力ヲ入レナケレバナラヌト云フコトダケハ、眞面目ニサウ思ツテ居ルノデアリマシテ、今後ハ出來ルダケ其方面ニ力ヲ入レテ、沿岸漁業ノ發達、漁村ノ繁榮ト云フコトニ對シテハ、出來ル限リノ力ヲ入レタ伊、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、私トシテ實際ノ施設其他ニ付キマシテハ、只今水產局長カラ申上ゲマシタ以外ニハ、私トシテモ一寸今思ヒ浮シデ居ルコトハアリマセヌトモ取タヤウニ帝水ダノ、大日本水產關係モダガ建ツテモ然ルベキダト云フ今日、產業組合中央金庫ニ僅カ五百万圓位入ルト、鬼ノ首シ得ルカ、是ハ農林省ノ方モ恐ラク漁業ノ特ニ產業組合ノ係ノ方ニ御尋シタインデスガ、大體日本ニハ諸威邊リニアル水產銀行ガ、大體日本ニハ諸威邊リニアル水產銀行モト思フ、ダカラ寄ツテ成ベク鞭撻ラシテ、中云フコトハ、心中窃ニ感ジテ居ラレルダラウト思フ、ダカラ寄ツテ成ベク鞭撻ラシテ、中金ヲシテ漁業協同組合ニ貸出サセルヤウニ監督シマスト云フ點ハ、期待シナイデモ分ッテ居ルノデスガ、ドウ云フ監督ラシテ行クカ、中金ハ中々出サヌデスヨ、ガツチリシタ連中ガ抑ヘテ居ツテ、今更少々ノ金ガ付イタノデアリマスケレドモ——實ハ確ニ是ハ貧困ナノデ、ソレハ本案其モノガ現シテ居

ル、大體是ハ農林省ガ貧困ナノデアリマス、是ハ後程ノ機會ニ、沿岸漁業調整ノ方法ニ付テ御尋ラ致シマスガ、モウ階級分裂ノ過程ニ入ツテ「プロレタリア」ト云フモノニナッテモ力ガ入レラレナケレバナラスト云トシテモ漁村ノコト、漁業ノコトハ餘リ詳シク知ラナイモノデアリマスカラ、サウ云フ本ヲ書キマス場合ニ——書キマシタ譯デハアリマセヌガ——サウ云フ場合ニ、非常ニ貢ガ少クテ甚ダ恐縮デアリマス、實際政ニ頁ガ少クテ甚ダ恐縮デアリマス、實際政策ノ貧困ヲ物語ツテ居ルノカモ知レマセヌガ、唯併シ漁村、山村ト云フコトニ付テ、農林省ハ今後一層ノ力ヲ入レナケレバナラヌト云フコトダケハ、眞面目ニサウ思ツテ居ルノデアリマシテ、今後ハ出來ルダケ其方面ニ力ヲ入レテ、沿岸漁業ノ發達、漁村ノ繁榮ト云フコトニ對シテハ、出來ル限リノ力ヲ入レタ伊、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、私トシテ實際ノ施設其他ニ付キマシテハ、只今水產局長カラ申上ゲマシタ以外ニハ、私トシテモ一寸今思ヒ浮シデ居ルコトハアリマセヌトモ取タヤウニ帝水ダノ、大日本水產關係モダガ建ツテモ然ルベキダト云フ今日、產業組合中央金庫ニ僅カ五百万圓位入ルト、鬼ノ首シ得ルカ、是ハ農林省ノ方モ恐ラク漁業ノ特ニ産業組合ノ係ノ方ニ御尋シタインデスガ、大體日本ニハ諸威邊リニアル水產銀行モト思フ、ダカラ寄ツテ成ベク鞭撻ラシテ、中云フコトハ、心中窃ニ感ジテ居ラレルダラウト思フ、ダカラ寄ツテ成ベク鞭撻ラシテ、中金ヲシテ漁業協同組合ニ貸出サセルヤウニ監督シマスト云フ點ハ、期待シナイデモ分ッテ居ルノデスガ、ドウ云フ監督ラシテ行クカ、中金ハ中々出サヌデスヨ、ガツチリシタ連中ガ抑ヘテ居ツテ、今更少々ノ金ガ付イタノデアリマスケレドモ——實ハ確ニ是ハ貧困ナノデ、ソレハ本案其モノガ現シテ居イ所ニ持ツテ行カレハシナイ、私ハ特ニ漁

安全ナモノハ何カト言ッタラ、板一枚ノ下ハ地獄ト云フモノデ、其爲ニ今マデ金ガ出ベキモノガ出ナイ、私ハ此案ガ縱ンバ無修正デ通過サレテ實現シタトシテモ、恐ラク其實行ノ場合ニ於テ、隨分強力ナ監督指導ヲ爲サラナケレバ、物ハ出來タガ入ッタ錢ハ産業組合「プロツパー」ノ方ニ持ッテ行カレタト云フコトニナツカラ、是亦アナタノ切腹問題ガ一ツ起キルデスヨ、此點ニ付テ「プラクチカル」ナ鞭撻ハドウスルノダ、私達ガ憂ヘテ居ルノハ杞憂ニナルカモ知レマセヌガ、產業組合中央金庫ガ貸サナイ、何トカムヅカシイコトヲ言ッテ貸サヌト言ッタラ、錢ハ向フガ持ッテ居ルノダカラ、昔カラ借リニ行ク奴ノ方ガ弱イト決ッテ居ルノデ、此點ニ付テ成ベク旨クヤツテ行ク積リデス位デヤナク、モウ少し打明ケテ、斯ウ云フ積リデ行ク、是ハ尤モ堤康次郎君ミタイナ借金ノ旨イ人ガ質問スルト宜イノデスガ、私ハシタコトガナイノデ旨ク行キマセヌガ、ソコノ所ヲ一つ御話願ヒタイ

○三宅政府委員 漁業組合ノミガ集シテ行ク漁業組合、中央金庫トカ、或ハ只今仰セノ水產銀行ナド、私ハ十年バカリ前ニ水產局ニ居ツタ時カラ言ハレタ問題デゴザイマス、十數年振リデ歸ツテ參リマシテモ、其片鱗モ實現サレナイヤウナ狀態デアリマス、サウシテ考ヘテ見マスト、十何年ソレヲ私共申シマシテモ實現出來ナカツタモノヲ、今後ソラ申シマシテモ何時實現出來ルカ分ラナ

レドモソレガ出来ヌ、沿岸漁業カラ遠洋漁業ニ移ルト言ツタッテ、漁具ノ問題ヲドウスルカ、船ノ問題ヲドウスルカ、食物ノ問題ヲドウスルカト言ヘバ、ソコニ所謂資金ト云フモノガ入ツテ來ルト云フコトニナルト、漁業ニ對スル社會的要因ト云フモノハ、ウント違ツテ來ル、大體今ノ漁師ト云フモノハ自分ノ口ニ入レル爲ニ魚ヲ獲ツテ來ルノデナク、ソレヲ賣ツテ自分達ガ生キテ行ク生活ノ資料ニスルノダカラ、此點デハアナタ方ノ仰シヤル上ノ方デ有無相通ズルダラウト云フ言葉ノ如ク、農業モ漁業モ同ジナノデスガ、獲ツテ來タ魚ヲ貨幣ニ換ヘルト云フヨリモ、直グニ食ツテ行クダケノ物ヲ買ツテ來ル、此方程式ガ成立ツ、商品即貨幣即他ノ商品、是ダケハ、アナタ方ノ仰シヤル言葉ノ方デ有無相通ズルコトニ持ツテ行ク同性ガアルノデスケレドモ、私ガ特ニアナタ方ニ考ヘテ戴キタイコトハ、漁業ニ依ル商品ト云フモノハ、消費經濟ノ進歩發達シタ今日、非常ニ都市集中化サレテ來テ居ル、是ハ一面カラ行クト宜イコトデセウ、ウント魚ガ東京ヤ大阪ヘ出テ來ル、ノ上等ノ物ハ、北海道ノ人間ノロヒ入ラナイ、皆東京ヤ大阪ノ金持ノ贅澤ナ奴ノロニ例ヘバ此頃北海道ヘ行ツタッテ石狩川ノ新巻

入ル、例ヘベ委員長ノ選舉區デ獲レル能登ノ海鼠腸ハ、昔ハ貧乏人デモ食ヘタガ、此頃ハ一垂モ食ヘハシナイ、皆大阪、東京ノ料理屋ヤ待合ト云フヤウナ、吾タノト興津鯛ナドモサウデセウ、是モ地元ニアリマセヌ、是ガ一つ、ソレカラモウ一つハ、沿岸漁業民ハ「マーケット」ノ情勢ニ付テ全ク盲目デアル、魚ノ値段ノ決定力ナント云フモノハ寸分ダニ持ツテ居ナイ、ソコニ行クト農民ハ達ヒマス、政府ガ手ヲ出シテ米穀統制法ダ、產蘭處理ダ、何ダ彼ダト言ツテ非常ニ騒イダグケニ、物ヲ餘計取ツテ來テ、ズバットヤツテ居ル、ソコヘ行クト此點漁民ハ全ク商人ノ隸屬デス、或ル意味ニ於テハ奴隸視サレテ居ル、ソレカラモウ一つ、漁獲物ニハ農業ノ產物ナドト達ツテ「フレッシュネス」、新鮮ト云フモノガ大切デス、魚篇ノ字ヲ書ク位ダカラ餘程新シクナケレバ食ヘハセヌ、ソレデ此點デ農產物以上ニ價格ノ變動ノ激シイモノダト考ヘテ居ル、ソレカラモウ一つハ、何ト言ツタツテ板子一枚下ハ地獄、サウシテ自然ニ支配サレ易クテ、漁獲ト云フモノハアレダケノ田圃何枚作ツタカラ米ガ幾段穫レルト云フヤウニ、算盤ガ彈ケヘセヌ、出行ツテ風ヲ喰ヘバ、沈

渢スルカ、精々良クテ空手デ歸ツテ來ル、言撫レバ自然ニ支配サレル危險性ガ非常ニ多
イ、此四ツノ點——今日此點デ農林大臣ニ
一ツ教ヘテ置イテ上ゲヨウト思ッテ居ルノ
デスガ、是ガ加ハツテ來タモノデスカラ、漁
村ニハ蓄財心ナドト云フモノガ無イノデ
ス、モウ蓄財心ヨリモ蓄財スベキ何物モ無
クナツテ居ル、何物モ無イト云フコトハ一面
カラ行クタ非常ニ強イコトデ、何カト言ツタ
ラ直グニ騷動ヲ起スノデス、米騷動ナント
云フモノハ漁師ノ女房ノ專賣特許ノヤウニ
言ハレテ居ルノデス、ナゼカト言ヘバ私
ハ斯ウ思フ、今ノ農業ノ方ノ、商品即貨盤
ト沿岸漁業へ來ルト飛ンデモナイ化物ガ居
ル、ソレハ中間搾取階級デス、魚問屋、親
方、金貸、仕込親方、網主、船主、漁場主
ナドト云フ者ガ出テ來ルト、結局獲レテ、
賣ッテ、食ッテ居ル漁民ハ仕込親方ナドノ關係
カラ行ケバ、私共ノ方ノ沿岸ナドデ見テ行ク
ミマスルト、仕込ム時ニモウ既ニ貸ス金ニ
商業利潤ト金利ヲ付ケマシテ、ソレニ「ブ
ラス」漁獲物ノ儲ケト、其漁獲物ニハ商業利
潤ト又金利ガ付イテ行クノデスカラ、非常
ニ高イモノニナル、ダカラ沖合ニ出テ行ク

ト、言葉ハ變デスガ掛賣ニ對スル掛買ト言ヒマスカ、要スルニ品物ヲ取ツテ來タナラバ、ソレト、トン／＼ニ彈イテ吳レト云フ風ニシテ借リテ行クノデスガ、是ハモウ殆ド今日ノ沿岸漁業民ノ持ツ一一番ノ弊害デスガ、二割三割方高イノデス、油カラ、網カラ、米カラ、味噌カラ、仕込間屋カラ仕込みモノハ、一般商人カラ買フヨリモ私共ノ調ベタ所デハ安イモノデ二割、富山縣、石川縣ノ不便ナ所ニ來ルト四割高、先達テ政府ニ要求シタ資料ノ中ニモ出テ居ラヌヤウデスシ、是モ私ノ當テズボウカモ知レスガ、マア據ル所ハアッタノデス、此仕込資金ト云フモノハ、沿岸漁業民ダケデ今日日本デ二億圓位ニナツテ居ルト思フ、之ヲ全國ノ漁家ニ割當テ見ルト一戸當リ四百圓位ニナツテ居ル、是ハ帝水アタリデ計算シテ出シテ居ルガ、農林省ノ調査デハ最低八分カラ最高三割二分ト言ツテ居リマスケレドモ、此平均ヲ取ツテ見テモ一割三分、所ガ此外ニツ大臣アタリニ、モット貧乏ナ沿岸漁村ヲ歩イテ見テ戴キタイコトハ、今ノ仕込ノ金ノ借方デス、是ハモウ東京ヤソコラデ暴利ダトカ、高利ダトカ言ツテモ、逆モ比較ニナラヌ、第一口錢ヲ取ル、手數料

ト云フ名目デ五分カラ一割天引ナノデス、是ハアリ得ルコトナノデスガ、而モ漁村ノ仕込親方ヤ網主ヤ何カノ漁民トノ借金關係ト云フモノハ、償還期間ガ笠棒ニ早イ、平均三箇月デ長クテ四箇月、半年ト云フモノハナイ、其度ニ借換手數料ヲ取ル、千圓ノ借金證文ヲ御覽ニナルト千圓受取タヤウニナッテ居リマスガ、手取五百圓位ガ關ノ山、是等ハ何デ斯クナッテ來ルカト云フト、是ハ結局私ガ今申上ゲタ此漁業ノ特殊性ト、農業ノ特殊性トノ間ニ全ク共通性ヲ持ツテ居ナイト云フコトナノデアル、其上ニ斯ウ云ツタ高イ金利ノ所ヘ追込マレテ來ルト同時ニ、先程仰シヤツタ通りニ、實ヲ言フト漁場ガ擴大シタ、其方法ガ違ツテ來タ、棹一本擔イデ釣ニ行ツタモノガ網ニナタ、其網ヲ持ツテ居ル者ガ今度ハ仕立方ガ違フシ曳方ガ違フ例ヘバ鰯ナドヲ地曳網デ曳イタリ、鰯ヲ「タカツナダイ」ナドト云フモノデ曳イテ居ツタモノガ、此頃ハソンナコトデハ目高モ入ラナイ、ソレハアナタ方ガ御出掛ニナッテ見ルト驚クガ、此頃ハ中々ハイカラデス、モウ「ランプ」ナドヲ使ツテ居ル者ハアリマセヌ、遠ク八戸邊リノ漁港ニ行ツテ見テモ、皆「カーバイト」ノ「ランプ」ナドヲ持ツヤウニナッテ來タノデ、結局金ガ無イト駄

目ナノダト云フコトニナル、其金ハ先程申上ガタヤウナ漁業ノ特殊性カラ、高イ金利度ガ出來テ、上ノ方デ旨クヤルゾト言ツテニナッテ居リマスガ、昭和元年ノ調デスカラ、モットガ、跳梁跋扈シテ居ルト云フコトニ對シテ、アナタ方ノ方デ何トカシテヤラスト云フト、此制度ハ活キナイデ半身不隨ニナリハセヌカト思フ、先程戴イタ資料ノ中ニ漁村ニ於ケル負債狀況調借入先別ト云フノガアリマスガ、是ハ實ハ私ガ狙ツタ所ト違フ、私ハ仕方ガアリマセヌカラ昭和元年ノ調デ少シ古方ガアリマセヌカラ、茲ニ水産資金貸付狀況ト云フノガアル、ソレニ依ルト固定資金ト流動資金ト、且ツ其「パーセンテージ」ガ出テ居ルノデスガ、茲ニ水産資金貸付狀況ト云フノガアル、ソレニ依ルト、北海道拓殖ト日本勸業ト農工ト普通銀行ト貯蓄銀行ト漁業組合ト產業組合、其他ト云フ八項目ニナッテ居ル、其金額ハ略シマス、御手許ニオアリダト思ヒマスガ、此表カラ計算シテ見ルト、是等ノ貸付總額ハ全體ニ對シテ特殊銀行ト云フモノハ、日本ノ漁業ニ關シテ金カ貸シテ居ナイ、普通銀行ガ四六・五%貸シテ居ル、貯蓄銀行ガ〇・二%貸シテ居ル、是ガ全體ノ六一・七%ニナル、此調デ見ルト、相當銀

行ハ貸シテ居ルト云フコトニナル、ソレニ對シテ漁業組合、產業組合ノ融通高ハドノ度ガ出來テ、上ノ方デ旨クヤルゾト言ツテ位カト云フト、是ハ無論政府委員ニ申上ゲテ置キマスガ、昭和元年ノ調デスカラ、モットモ、此沿岸漁村ニ於ケル驚クベキ高利資本ガ、跳梁跋扈シテ居ルト云フコトニ對シテ、アナタ方ノ方デ何トカシテヤラスト云フト、今年ハ「プロモート」シテ居ルト思ツテ居モ、此沿岸漁村ニ於ケル驚クベキ高利資本ガ、跳梁跋扈シテ居ルト云フコトニ對シテ、アナタ方ノ方デ何トカシテヤラスト云フト、此制度ハ活キナイデ半身不隨ニナリハセヌカト思フ、先程戴イタ資料ノ中ニ漁村ニ於ケル負債狀況調借入先別ト云フノガアリマスガ、是ハ實ハ私ガ狙ツタ所ト違フ、私ハ仕方ガアリマセヌカラ昭和元年ノ調デ少シ古方ガアリマセヌカラ、茲ニ水産資金貸付狀況ト云フノガアル、ソレニ依ルト固定資金ト流動資金ト、且ツ其「パーセンテージ」ガ出テ居ルノデスガ、茲ニ水産資金貸付狀況ト云フノガアル、ソレニ依ルト、北海道拓殖ト日本勸業ト農工ト普通銀行ト貯蓄銀行ト漁業組合ト產業組合、其他ト云フ八項目ニナッテ居ル、其金額ハ略シマス、御手許ニオアリダト思ヒマスガ、此表カラ計算シテ見ルト、是等ノ貸付總額ハ全體ニ對シテ特殊銀行ト云フモノハ、日本ノ漁業ニ關シテ金カ貸シテ居ナイ、普通銀行ガ四六・五%貸シテ居ル、貯蓄銀行ガ〇・二%貸シテ居ル、是ガ全體ノ六一・七%ニナル、此調デ見ルト、相當銀

業金融ヲ爲スペキ特殊銀行ガ貧弱、微弱デアリ、普通銀行ガ稍、中心的勢力ヲ占メ、而モソレニ對シテ其他ト云フ高利的ナ金利ヲ持ツモノガ王座ヲ占メテ居ルト云フコトハ、茲ニ私ハ漁村金融ノ建直スベキ一ツノ原因ガ、立派ニ存在シテ居ルト思フ、農林當局モ此點ハ私ノ意見ヲ認メテ下サルコトト思フノデスガ、私ハ此其他ト云フモノヲクト其他ノ中ニ入ツテ居ル、是デ見ルト並ミ大抵ノ金融機關ガ出テ來テモ、日本ノ沿岸漁業ニ對シテ金融力ノ逼迫、窮乏ニ對シテ依ルモノトデ、私ノ計算ニ依ルト、即チ水産資金貸付狀況ノ統計ニ依ルト、結局水產資金ハ銀行ニ依ルモノト其他ニソレデ水產資金ハ銀行ニ依ルモノト其他ニハ、救フ手ガナイト云フ結論ガ出テ來ル、ソレノモトデ、私ノ計算ニ依ルト、即チ水産資金貸付狀況ノ統計ニ依ルト、結局水產資金ハ銀行ニ依ルモノト其他ト云フ得體ノ知レナイモノデ九一・五%ヲ占メテ居ルノデスカラ、其大部分ヲ占メテ居ルト云フコトニナル、スルト漁業組合、產業組合ト云フモニナル、漁業用生産手段タル諸商品ヲ販賣スル人間、其次ガ高利貸、其次ガ質屋、其次ガカラ漁業用生産手段タル諸商品ヲ販賣スル人間、其大部分类は、伯父サンニ、借ルノモアリマセウ、婆サンニ借ルノモアルダラウト云フコトニナル、是等ヲドウ是カラト云フコトニナル、是等ヲドウ是カラ整理スルカ、例ヘバ農村デ一口ニ、金ヲ借ル時ニ何デ借リタカト云フト、仕込ミ融通ダト云フ言葉ガアリマス、御分リダラウト由ノ中ニ相當貸シテ居ルゾト啖呵ヲ政務次官ハ切ラレタヤウデスガ、事實調べテ見ルノハ今マデ何ヲシテ居ツタノカ、先程提案理由ノ中ニ相當貸シテ居ルゾト啖呵ヲ政務次官ハ切ラレタヤウデスガ、事實調べテ見ルト、サウ云フ所ニハ行ツテ居ラヌ、殆ド貸シテ居ラヌト言ツテ宜イ、漁業組合、產業組合ノ活動ハ甚シク貧弱デアリ微弱デアルト云フコトニナル、ソコデ銀行デアリナガラ漁母子講ニ依ル融通、此位ニ漁村ニ來ルト分レテ居ル、仍テ是等ノ事情カラ見テ、今度

ノ産業組合中央金庫ニクツ付ケルコトハ
イ、時勢タカラマゴ／＼シテ居ルヨリモ、
早ク作ツテ戴イタ方ガ宜イガ、ソレニ對シテ
政府當局ガ根本的ニ實ハ何時カ時期ガ來タ
ナラ、是ハ一本立ヲモット完全ニスルカ、或
ハ二本立ニスルカ、漁業組合中央金庫ヲ獨
立サセル意思ガアルノカナイノカ、ソレト
モ未來——無論時世時節デ變リマセウガ、
產金ニ軒ヲ借ルカ母屋ヲ乗取ルヤウニナル
カ、母屋ヲ乗取レバ結構ト思ヒマスケレド
モ、中々ヤラヌカ、之ニ對シテ一體ドウ云フ
御考デアルガ、コンナ高イ金融ヲ持ツテ居ル
下ノ方ヲ無視シテ、上ノ方ダケデ有無相通
ズルゾト言ツタ所デ、中々問題ダラウト思ヒ
マス、一ツ御考ヲ聽カセテ戴キタイ

○有馬國務大臣 私カラ私ノ考付イテ居ル
所ヲ一應申上ゲマス、足リナイ所ハ政府委員
カラ御答申上ゲマス、只今喜多君カラ縷々
御述ニナリマシタ漁村ニ於ケル非常ニ高利
ナ資金ニ關シマスルコトハ、今回漁村ノ金
融ヲ圓滑ナラシムル爲ニ、中央金庫ニ加入
シテ此途ヲ拓クト云フコトニ致シマシタノ
モ、只今御述ニナリマシタ所謂漁村ニ於ケ
ル非常ナ高利ノ金ノ爲ニ、一般ノ漁業者ガ
困ツテ居ルト云フコトヲ救ヒマス所ニ、眞ノ
目的ガアルノデアリマシテ、私共ハ是非共

漁業協同組合、漁業組合聯合會、斯ウ云フ
ノ爲ニ非常ニ困難致シテ居ル者ニ、資金ノ
融通ヲ圓滑ニシテ之ヲ救濟シ、漁業ノ發展
ヲ圖リタイト云フノガ、主タル目的ナノデア
リマス、有無相通ズルト水產局長ガ申サレ
マシタコトヲ私ガ忖度シテハ甚ダ變デスガ、
私ハ實ハ斯ウ云フ意味ニ聞イテ居ツタノデ
アリマスガ、例ヘバ産業組合中央金庫ノ金
ガ數少イ種類ノ方面ニ資金ガ融通サレテ居
リマスルト、資金ノ需要ガ一年ノ或ル時期
ニ非常ニ偏ルト云フ傾向ヲ持ツノデアリマ
ス、成ベク色々々ナ種類ノ方面ニ金ガ融通サ
レルト云フコトニナリマスレバ、十年ヲ通
ジテノ資金ノ融通ガ偏ラナクテ、非常ニ宜
クナルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ私
共ト致シマシテハ、產業組合中央金庫ニ漁業
方面ガ入ツテ來ルト云フコトニナルト、中央
金庫ノ資金ノ運轉上非常ニ便利ニナルノデ
ハナイカ、農業ノヤウニ資金ガ偏ラナイノ
デアリマスカラ、漁業ノ方ハ或ル時期ハ金
ノ金融ガ加ハルトスレバ、所謂中央金庫ノ
ガ非常ニ要ツテ、或ル時期ハ要ラナイト云フ
コトガ農業程ヒドクナインデ、漁業方面

生レル、斯ウ云フ意味デ有無相通ズルト言
ハレタノデハナイカト思ヒマス、私ハサウ
云フ意味ニ於テ漁業方面ガ單獨ナ金融機關ヲ
ヲ持ツヨリハ、一ツノモノニ集ツタ金融機關ヲ
持ツ方ガ、資金ノ運用ノ上カラ言ッテ宜イノ
デハナイカト云フ風ニ、私ハ考ヘテ居ルノ
デアリマス

レハ必然的ニ出資困難ト云フ事情ニアルト
農休當局ハ其內容ヲ眞剣ニ御考ニナラレタ
カドウカ、若シ御考ニナッテ居ルト云フ材料
ガアレバ一ツ示シテ戴ケレバ結構ダト思ヒ
マス、第三點ハ漁業組合ノ振興策ニ付テデ
アリマス、何ト言ツテモ漁村ノ振興ヲ圖ルノ
ニハ漁業組合ヲ擴充シテ、其生産關係、配
分關係ヲ調整スルコトガ必要デス、今相當
發達シテ來タガ一層之ヲ所謂擴充シテ行カ
ナケレバナラヌト言フガ、此點デ政府ハ一
體漁業組合ヲ獎勵シテ行カウト云フ意思デ
アリマスカ、モウ一ツ言葉ヲ附加ヘテ置キ
マス、漁業協同組合ヲ大イニ獎勵シテ行カ
ウト云フ根本策カ、ソレトモ産業組合ヲ獎
勵發達セシメテ行カウト云フノカ、此點ニ
付テドツチヘ行クノカ、隨テ其結果斯ウ云フ
コトモ私ハアナタ方ニ御尋シテ置キタイ、
若シ漁業協同組合ヲ獎勵シテ行クノガ、今日
マスカ、第一ハ一體如何ナル地域ニ漁業協
同組合ヲ設置シヨウト云フノカ、昭和八年
ノ漁業法改正ニ依ツテ、漁業協同組合ガ出來
テ來テソレガドノ位今日マデ實績ヲ示シテ
居ルカ、サウシテ漁業協同組合ニ法規上ノ

立前カラ一體ドンナ實質ヲ與ヘヨウトスルノカ、モウ一ツアナタ方ニ言フガ、漁村々々ト言ヒ、漁村ニ於ケル產業組合ノ發達實績ト言フガ、其漁村トハ一體ドウ云フモノヲ御考ニナッテ居ルカ、私カラ言ハセルト、純漁村ガアリ、半農半漁ノ町村ガアリ、或ハ農村デアツテ一部漁民部落ヲ持ッテ居ルト云フ風ナモノモアルガ、斯様ニ漁村ノ形態ト云フモノハ純農村ノ形態ヨリモ複雜多岐ダガ、其處ニ持ッテ行ッテ一體漁業協同組合ヲ如何ナル形デ獎勵サレルカ、是等ニ付テアナタ方ノ御考ヲ承リタイ、若シ純漁村、半農半漁村、農村或ハ商業町村ト云フ風ナ分類ニ付テ御調べガナケレバ、是ハ明日デモ——イツカノ機會ニ文書デ示サレテモ結構ダト思ヒマス

○三宅政府委員 昭和八年漁業法ノ改正以來今日マデ、漁業協同組合ヲ出來マシタ數ハ約一千五百九デアリマス、殘リノマダ改組シテ居リマセヌ千七百近イモノ、ソレガ昭和十四年ノ七月末マデニ或ハ漁業協同組合ナリ、或ハ責任組織ヲ取ル出資ノ組合ニ變ラナケレバナラヌコトニナッテ居ルノデアリマス、數字ノ上ノ實績ハ左様ナ風ニナッテ居リマス、漁業協同組合ハ御承知ノ通り出資組合デアリマスルカラ、是ハ大半共同販

賣ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ残ッタモノ、責任組合ニナラナイモノ、或ハ漁業協同組合ニナラナイモノハ、ナラナイ原因ガ奈邊ニアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ非常ニ小サクテ一ツダケデハ其部落ノ——部落ト申シマシテモホンノ小サイモノデアツテ、固リマシタ所ガ大シタ効キヲシナシ、又シ得ラレナイト云フモノモゴザイマセウシ、或ハ組合員其他ノ關係ニ於キマシテ出資ノ困難ナモノ、或ハ若干出資ガアリマスルガ故ニ積立金ノ如キモノモアリマスルカラ、別ニ此際出資制度ニ直サナクテモ、同ジ効キヲ爲スノデヤナイカト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル向キト、大體此三ツカ四ツノ種類デアラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ漁業組合ノ振興策トシテ、今後漁業協同組合ヲ如何ニ導イテ行クカト云フ風ナ御話デアリマスルガ、私共水産ニ關係シテ居ル者ト致シマシテモ、苟モ漁業者ガ町村ニ居リマスレバ、總テ漁業協同組合ヲ以テ固メルト云フ風ナ考ハ持ッテ居リマセヌ、ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○喜多委員 政府委員ニ御尋シマスガ、今は又色々ナ場合ガ想像サレルダラウト思ヒマス、例ヘバ相當強力ナ漁業者ノ部落ナリ、或ハ數部部落漁業者ノ居ル所ガアリマス、半漁村、農村又ハ商業村ト云フ風ナモノニ依ッテ、產業組合ナリ漁業組合ヲ設置サレタ私ノ申シタ第四點デスガ、純漁村、半農、半漁村ガアリ、半農半漁ノ町村ガアリ、或ハ漁業組合ニ依ル漁業資金ノ貸付ノ數字ノ御示シガアリマシタガ、アレモ私共承知シテ居リマスガ、其後、是ハ全部ガ全部ノ產業組合ヲ調ベタ資料デハアリマセヌケレドモ、昭和十一年末ニ於キマシテノ產業組合ノ漁業者ニ對スル貸付ノ金額ハ、私共ノ方ニアル調査ニ依リマシテ分ッテ居リマス、其金額ハ一千三百三十一萬四千圓デアリマス、先程ノ御話ノ四百何十万圓ト云フモノニ比較致シマスレバ、此十年ノ間ニ大體三倍ニナッテ

居ルノデアリマス、一方大體同ジ年間ニ於キマシテ、普通銀行ノ漁業者ニ對スル貸付ハドウ云フ風ニ變遷シテ居リマスカト云フト、先程御話ノ三千六百餘万圓ガ寧ロ減ジマシテ、三千三百万圓ニナッテ居ル、ソレカラ又特殊銀行ノ貸付、是ハ殖エテ一千百餘万圓ガ二千七百万圓ニナッテ居リマスガ、產業組合ガ漁村方面へ貸付ノ増加シマシタ割合ニハ及ンデ居ラナイノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デアリマシテ、漁村方面ニ相當產業組合ガ從來活動シテ居ルノダト云フコトガ私共考ヘラレルノデアリマス、殊ニ尙ホ斯ウ云フコトモ併セテ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、先程申シマシタ千三百三十餘万圓ノ產業組合ノ漁業者ニ對スル貸付デアリマスガ、是ト見合シテ、ソレデハ漁業者ガ同時ニ産業組合ニドレ位貯金シテ居ルカト云フコトヲ見マスト、千百餘万圓ニナッテ居ル、之ニ依ッテ見マスト、漁業者モ相當貯金ヲヤッテ居リマスガ、併シマダ貯金額ヨリモ餘計ニ産業組合ガ漁業者ニ貸付ケテ居ルト云フ事實ハ、產業組合ガ相當漁業者ノ爲ニモ肌ヲ脱イデ居ルト云フコトガ明ニナルノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デアリマシテ、只今ノ御質問ノ點ニ付キマシテハ、產業組合モ相當ニ從來漁村ノ

爲ニ活動シテ居タト云フコトヲ申上ゲテソレカラ今度ノ漁業組合ノ制度ノ改正ニ依ッテ漁業協同組合ガ貯金ノ受入ヲスルコトニナッテ參ッタ時ニ、產業組合ト漁業組合ノ關係ガドウ云フコトニナルカト云フコトニ付キマシテハ、私共此案ヲ農林省部内デ相談シテ居タ間ニ無論篤ト考ヘタ點デアリマスガ、マダ十分熟シナイ點モアリマスガ、私ハ自分ノ多少知ッテ居リマス例ニ付テ申上ゲマスト、例ヘバ愛知縣ノ名古屋市内ノ下之一色、アレハ有名ナ漁村部落デアリマスガ、彼處ニ信用單營ノ漁業組合ガアルノデアリマス、其下之一色モ最近都市的ニ發達シテ來マシタ爲ニ相當ノ商業者モアルノデアリマスガ、此信用組合ハ主トシテ漁業者ニ利用サレテ居リマス、產業組合ノ事業ヲ見マスト、信用事業ノ外ニ、販賣、購買事業等ヲヤッテ居リマシテ、販賣事業ノ中ニヘ米麥ノ販賣モヤッテ居リマスシ、購買ノ事業ノ中ニヘ、肥料ノ如キモノハ最モ大キナ取扱品目ニナックテ居リマス、サウシテ從來漁業組合トノ關係ヲ見マスト、貯金ノ受入ノ如キモ、漁業者ガ皆產業組合ニ預ケテ居リマシテ、資金ノ融通關係ナンカモ、此產業組合ガ他カラス、ソレカラ德島縣下ノ出羽島ノ漁業組合ハアノ邊デノ良イ組合ノヤウニ聞及ンデ居リマスガ、此處ニ信用組合ガアリマス、是ハドウ云フコトヲシテ居ルカト言ヒマスト、彼處ハ島デアル關係デモアリマスガ、純漁業組合ガ

村デアリマシテ、農村ハ殆ドナイノデアリマス、信用組合ノ貸付モ主トシテ漁業用資ヲヤッテ居ルト云フヤウナ組合デアリマスガ、斯ウ云フ組合ハ日用品ノ購買關係ニ於テ産業組合ノ系統機關ヲ利用スルコトガ依然トシテ便利デアルト云フヤウナ關係カラ引續キ産業組合トシテ殘ルカモ知レマセヌガ、サウ云フ關係ヲ除ケマスト、是ハ漁業組合ニ貯金ノ受入ガ出來マス以上ハ合體シテシマフモノデハナイダラウカト私共考ヘタ點デアリマスガ、全體ノ沿海町村ノドレ位ガ今申シマシタモノノドウ云フ種類ニ當ルカト云フ數字ハ今ノ所持ッテ居リマセヌ

○喜多委員 能ク分リマシタ、其點ハ私ハ自分ノ蒙ヲ啓カレタノデスガ、私共懸念スルノヘ、實ヲ言フト、ソレヲ承ツテ更ニ強マッテ來ルコトハ、結論的ニ此次ノ質問ノ要點ダケラ申上ゲマスト、弱小生産者ノ集リデアル沿岸漁業者ト云フモノハ、ドウ團結シタ所デ、共同シタ所デ、資本ニ對シテ攻勢的ナ態度ヲ執ルト云タ所デ、金ハナインデスカラネ、經濟能力ハナイ、「ゼロ」ハ幾ラ集ツテモ「ゼロ」デアル、ソコデ其經濟團體ニドンナ實力ヲ與ヘルカト云フコトニナルト、私ハ實ハ漁業協同組合ノ行キ方デ宜イト思フノデスケレドモ、漁村ノ農村部落ニ於ケル經濟ヲソレデハ逆ニドウ處理スルカ、例

農產物或ハ山林カラ出テ來ル物モ、一體漁業協同組合デ取扱ハゼル積リカドウカ、此點、ソレカラ漁業法ノ改正ニ依ッテ第四十三條ノ二ノ事業規定デ如何ナル生産物ヲモ取扱フト云フ風ナコトニナルト、一體サウ云フコトガ可能カドウカ、此際農林省カラ戴イタ農村ト漁村トノ比較材料ト云フモノヲ見ルト、是ハ略シマスガ、相當複雜シテ居ル日本デスカラ、今ノ政府委員カラ御話ニナツタヤウナ、斯ル鶴的ナ立場ニナルモノガアル、ソコデモウ漁業協同組合ニ改組豫定ノモノガ約七百アルト戴イタ資料ノ中ニアルガ、是等ニ向ツテハ漁業協同組合ニ改組スルト云フコトヲ獎勵スルト同時ニ、漁業協同組合ニ産業組合ノ代行力ヲ與ヘナイカト云フコトデアル、サウ云フコトハ出來マセヌカト云フコトデアル、今ノ御話ノ通り隨分産業組合ハ過去十年間ニ於テ私ノ擧ゲタ資料以上ニ立派ナ成績ヲ漁村ニ示サレテ居ルコトヲ今明示サレテ實ハ有難ク思フノデスシ、私共ノ調べタ所ニ依リマスト、三陸地方ノ漁業資デアル、貧漁村程實ハ産業組合ニ御迷惑ヲ金ノ状態ナドヲ調べテ見マスト、殆ド漁村七千二十七圓五十二錢ナント云フ金ヲ岩手

邊リデ借りテ居ツテ、産業組合ガ今度ハ弱リ
手縣、宮城縣、福島縣ナドニ付テ見ルト
隨分澤山アル、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘ
テ見テ、モウ一ツピント頭ニ來ルコトハ、
例ノ石油ノ問題デス、是ハ度々引合ヒニ出
シテ三宅君ニ御氣ノ毒ダガ、西川君ガ腹ヲ
切ラナケレバナラヌゾト言ハレタヤウナ問
題ガアル、私共ガ聞イテ見ルト、漁業組合
聯合會デ買ツテ居ルモノハ産業組合縣聯合
會ヲ通ジテ買ツテ居ルモノヨリモ高イ、高イ
筈デス、「ライジングサン」トカ、日本石油
トカ、三井、三菱邊リトカカラ直接買ハナイ
デ、漁業組合聯合會ハ第二段、第三段ノ「ブ
ローカー」カラ買ツテ來ルノデスカラ、同ジ
モノデアレバ產業組合、言換レバ全購聯、
全販聯ノ方ノ組織ヲ持ツテ居ルモノハ安イ
モノヲ高イ時ニ使ツテ居ラレテ、同時ニ漁民
ハ高イモノヲ買ツテ居ルト云フ缺陷ハ、ハッ
キリト此戰爭以來現ハレテ來テ居ル、是ハ
「タンク」ナンシ少々造ツテモ補ヘヌコトデ
ス、何故ナラバ言換ヘレバ、漁業協同組合
ガ產業組合ノヤウニ、四ツノ所謂信用、利
用、販賣、購買ト云フ風ナ全神經的ナモノ
ヲ持ツテ居ナイカラ斯ウ云フコトニナル、ダ
カライツソ今後漁業協同組合ノ獎勵ト產業

協同組合其モノニ産業組合ヲ思切ッテ代行
セセルト云フ風ナ決意ヲ持タレマセヌカ、
是ハ大臣ニ大乘的ナ見地カラ、——此頃ノ
大臣ノ使フ好キナ言葉デアルガ、一ツ御考
願シテ、出來ルモノカ、出來ナイモノカ、是
ガ一ツ、ソレカラ最後ニ日本ノ水産業、漁
業ノ狀態カラ言ツテ、何時カハ諸威ノ國立水
產銀行、即チ「デン・ノルスク・スターイ・フィッ
シャーベンク」ト云フヤウナ水產銀行ト
シテノ特殊銀行ヲ、日本デモ作ル必要ア
リト御考ニナリマセヌカ、戰爭中ハ無論出
來ヌデセウガ、サウデナク平和ノ狀態ニ歸シ
タヤウナ時ニ、一體農林省ハ今カラ用意ヲ
スルヤウナ御意思ガアルカドウカ、此點ニ
付テ御尋ラシタイノデス

組合ヲ十分ニ發達サセ、之ヲ完備致シマスレバ、産業組合ノ代行ヲ是非サセナケレバ、不都合デアルト云フヤウナコトニハナラナタヤウニ、其方が適當デアルト認メラレタ所デハ産業組合ガ發達シテ居ルデアラウシ、協同組合ニ依ル方ガ適當デアルト思ハレル所ニハ協同組合ガ發達シテ居ルノデアリマスカラ、ソレハ各、其適當ナモノガ適當ナ所ニ發達スルト云フコトデ宜シイノデアツテ、強ヒテ代行ヲシマスト云フコトヲ御ズルト云フ風ニハ、私ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、第二段ノ點ニ付キマシテハ十分ニ今後研究ヲ致シタイト思ヒマスガ、只今ノ所ハ纏ツタドウ致シマスト云フコトヲ御答申上ゲルマデニハ至ツテ居リマセヌ

○喜多委員 最後に御尋フシマスガ、一體五百万圓程度ノ資本金増加デ宜シイカドウカ、是ハマア多々益辨ズデ、多ケレバ多イ程宜イノデスガ、是デハ今ノ農村ノ窮乏シ窮迫シタ金融ニ對シテハ、燒石ニ水ノヤウナ狀態デハナカラウカト思フノデアリマスケレドモ、政府ノ御考ヲ一ツ聞カシテ戴キタイ

ノ所ハ纏ツタドウ致シマスト云フコトヲ御答申上ガルマデニハ至ツテ居リマセヌ
○喜多委員 最後ニ御尋ラシマスガ、一體五百万圓程度ノ資本金増加デ宜シイカドウカ、是ハマア多々益辨ズデ、多ケレバ多イ程宜イノデスガ、是デハ今ノ農村ノ窮乏シ窮迫シタ金融ニ對シテハ、焼石ニ水ノヤウナ狀態デハナカラウカト思フノデアリマスケレドモ、政府ノ御考ヲ一ツ聞カシテ戴キタイ

金庫ヲ通シテ行ヒマスニ付キマシテ、五百
万圓ノ増資ト云フコトデアリマスガ、是ハ
私カラ今更申上ゲルマデモナイト思ヒマス
ケレドモ、中央金庫ト致シマシテ、時ニハ
非常ニ資金ニ詰マリシタ場合モアルコト
デアリマスシ、時ニハ又隨分金ガ剩ルコト
モアルノデアリマス、最近ハ餘裕金ガ大分
少クナッテ困ッテ居リマスガ、一時ハ隨分餘
裕金ガ多過ギテ困ッタ場合モアルノデアリ
マス、サウ云フ點ヲ色々考ヘテ見マスレバ、
中央金庫自體ト致シマシテモ、相當ノ金ガ
漁業方面ニ必要デアレバ、之ニ融通スル餘
力ハ十分アルト私ハ思フノデアリマス、五
百万圓ノ出資ヲ致シマスト云フコトハ、勿論
多キニ越シタコトハナイト思ヒマスガ、併
シ此際ソレ程多額ノモノデナクテモ、是ダ
ケノコトヲ致シマスレバ漁村ニ於ケル金融
ノ爲ニ、中央金庫トシテ相當ノ力ヲ伸バス
コトハ出來ルト云フ風ニ私ハ信ジテ居ルノ
デアリマス

○喜多委員 是デ私ノ質疑ハ打切ッテ置キ
マス

○高木委員 一寸關聯シテ簡単ニ御伺シマ
スガ、只今喜多君ノ御質問ニ對シマシテ、
大臣カラ沿岸漁業ノ調整ト云フコトニ付テ、
將來大イニ考慮シテ下サルト云フコトヲ承ッ
シ魚モ生物デアル以上ハ多ク捕レバ減ルト
云フコトハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、
ケレドモ、中央金庫ト致シマシテ、時ニハ
非常ニ資金ニ詰マリシタ場合モアルコト
デアリマスシ、時ニハ又隨分金ガ剩ルコト
モアルノデアリマス、最近ハ餘裕金ガ大分
少クナッテ困ッテ居リマスガ、一時ハ隨分餘
裕金ガ多過ギテ困ッタ場合モアルノデアリ
マス、サウ云フ點ヲ色々考ヘテ見マスレバ、
中央金庫自體ト致シマシテモ、相當ノ金ガ
漁業方面ニ必要デアレバ、之ニ融通スル餘
力ハ十分アルト私ハ思フノデアリマス、五
百万圓ノ出資ヲ致シマスト云フコトハ、勿論
多キニ越シタコトハナイト思ヒマスガ、併
シ此際ソレ程多額ノモノデナクテモ、是ダ
ケノコトヲ致シマスレバ漁村ニ於ケル金融
ノ爲ニ、中央金庫トシテ相當ノ力ヲ伸バス
コトハ出來ルト云フ風ニ私ハ信ジテ居ルノ
デアリマス

近來工業ノ發達、其他種々ノ關係カラ沿
岸漁業ガ衰頽スル、私ハ其資源ノ培養ニ努
メテ魚ヲ殖ヤスト云フコトニ、將來シテ戴
ケルト思ツテ満足スルノデアリマスガ、豫算
ヲ見マシテモ、沿岸漁業振興費トシテ僅ナ
ガラ認メテアリマスケレドモ、アレバカリ
ノ金デハ逆モ廢頽シテ居ル所ノ沿岸漁業ノ
振興ハ望ミ得ナイノデアリマス、既ニ病膏
肓ニ入ッタヤウナ形ノモノニ對シマシテハ、
將來モットノ豫算ヲ増額シテ、此目的貫
徹ニ努メテ戴キタイト思フノデアリマス、
尙ホ元來沿岸漁業ノ衰頽ノ傾向ヲ來シマシ
タノハ——既ニ二十年前カラ沿岸漁業ハ
ボツ／＼悪クナッテ來タノデアリマシテ、茲
ニ於テカ、私共唱ヘタノハ、沿岸漁業ハ成ダ
ケ守ッテ、大事ニシテ遠洋ニ進出スルガ宜イ、
ト云フコトニ付テ、御願ヲ致シタノデアリ
マス、政府ニ於テモ遠洋漁業ノ獎勵ヲ相當
ケレドモ、併ナガラ遠洋漁業ノ發達モ、
既ニ私ハモウ目的ノ所謂角度マデ達シテ居

テ、私ハ非常ニ満足スル者デアリマス、併
シ魚モ生物デアル以上ハ多ク捕レバ減ルト
云フコトハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、
本會議ノ時ニモ一寸申上ゲマシタケレドモ、
云フコトハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、
ニ付テモ、相當ノ統制ヲ保ッテ、例ヘバ鰐、
鮪ナドニ付テモサウ無限ニ獲ルト云フコト
メテ魚ヲ殖ヤスト云フコトニ、將來シテ戴
ケルト思ツテ満足スルノデアリマスガ、豫算
ヲ見マシテモ、沿岸漁業振興費トシテ僅ナ
ガラ認メテアリマスケレドモ、アレバカリ
ノ金デハ逆モ廢頽シテ居ル所ノ沿岸漁業ノ
振興ハ望ミ得ナイノデアリマス、既ニ病膏
肓ニ入ッタヤウナ形ノモノニ對シマシテハ、
將來モットノ豫算ヲ増額シテ、此目的貫
徹ニ努メテ戴キタイト思フノデアリマス、
尙ホ元來沿岸漁業ノ衰頽ノ傾向ヲ來シマシ
タノハ——既ニ二十年前カラ沿岸漁業ハ
ボツ／＼悪クナッテ來タノデアリマシテ、茲
ニ於テカ、私共唱ヘタノハ、沿岸漁業ハ成ダ
ケ守ッテ、大事ニシテ遠洋ニ進出スルガ宜イ、
ト云フコトニ付テ、御願ヲ致シタノデアリ
マス、政府ニ於テモ遠洋漁業ノ獎勵ヲ相當
ケレドモ、併ナガラ遠洋漁業ノ發達モ、
既ニ私ハモウ目的ノ所謂角度マデ達シテ居

ルノデヤナイカト思フ、或ハ行止ル時代ガ
近イノデハナイカト思フ、斯ウ云フコトヲ
考ヘマシタナラバ、ヤハリ遠洋漁業者ナド
ニ付テモ、相當ノ統制ヲ保ッテ欲シイト思フ
メテ魚ヲ殖ヤスト云フコトニ、將來シテ戴
ケルト思ツテ満足スルノデアリマスガ、豫算
ヲ見マシテモ、沿岸漁業振興費トシテ僅ナ
ガラ認メテアリマスケレドモ、アレバカリ
ノ金デハ逆モ廢頽シテ居ル所ノ沿岸漁業ノ
振興ハ望ミ得ナイノデアリマス、既ニ病膏
肓ニ入ッタヤウナ形ノモノニ對シマシテハ、
將來モットノ豫算ヲ増額シテ、此目的貫
徹ニ努メテ戴キタイト思フノデアリマス、
尙ホ元來沿岸漁業ノ衰頽ノ傾向ヲ來シマシ
タノハ——既ニ二十年前カラ沿岸漁業ハ
ボツ／＼悪クナッテ來タノデアリマシテ、茲
ニ於テカ、私共唱ヘタノハ、沿岸漁業ハ成ダ
ケ守ッテ、大事ニシテ遠洋ニ進出スルガ宜イ、
ト云フコトニ付テ、御願ヲ致シタノデアリ
マス、政府ニ於テモ遠洋漁業ノ獎勵ヲ相當
ケレドモ、併ナガラ遠洋漁業ノ發達モ、
既ニ私ハモウ目的ノ所謂角度マデ達シテ居

○三宅政府委員 遠洋漁業ノ或種ノモノノ
統制ノ御話デアリマシタガ、是ハ或種ノモ
ノニ付キマシテハ或ル特種ノ境界ガアリマ
シテ、其境界ヲ自發的ニ統制スベキヤ否ヤ
ト云フコトニ付テ、連續三回ニ瓦リマシテ
議ヲ練ツテ居ル次第デアリマス、私トシテハ
或種ノモノニ付キマシテハ、或ル程度ノ統
制ヲ加ヘル必要ガアルト思ツテ居ルト云フ
コトダケラ申上ゲて置キマス

○高木委員 元來漁業ト云フコトハ、漁業
法第一條ニ、漁業トハ營利ノ目的ヲ以テ水
產物ヲ採取スルコトガ漁業デアルト云フ定
義ヲ下シテアルガ、一體魚ヲ獲ルコトバカ
リガ漁業デアルト云フコトハ、私ハ大ナル
マスガ、漁船保險組合ニ對スル政府ノ補助
獎勵ニ付テ簡單デ宜シイカラ具體的ナ御說
明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、次ニ遠
洋漁船ノ遭難ハ頻々トシテアルノデアリマ
シテ、私モ統計ヲ取ツタ譯デハアリマセヌ
ケレドモ、私ノ考ヘルノニ遠洋漁船三百艘
ニ對シテ一年ニ一件位ハ遭難ガアルヤウニ
思フノデアリマス、此時ニ何時モ私共ハ鎮

守府へ行キマシテ遭難漁船ノ搜査方ヲ願フ
ノデアリマス、而シテ又海軍ノ方デモ相當
ノコトヲヤツテ吳レルノデアリマスルケレド
モ、一々行キマシテ一々御願ヲシテ不徹底
ニ濟マスト云コトガ多クゴザイマスルノデ、
此際遠洋漁船遭難ノ時ニ、其艘査方ヲ一
ツ農林省ノ方カラ海軍ノ鎮守府カ何カト相
談シテ能クハツキリシタ方法ヲ決メテ戴
ク譯ニ行カヌカドウカト云フコトヲ承ッテ
置キタインデアリマス

ソレカラ漁船ノ補助金下付ニ關スル點
デアリマスガ、其時期ニ付テ政府ノ方デ
ハドウ云フ風ニ取扱ッテ下サッテ居ルノ
デアリマセウカ、大體漁船機關ノ補助金
ト云フモノハ、當業者ガ是等ノ資本ガ不
足ナ爲ニ補助ヲ申請スルノデアリマシ
ンカモ是カラ主ニ來ルノデアリマスガ、此
ノデアリマス、然ルニ船ガ出來上ッテシマッ
ク下付セラレルヤウニシテ戴キタイト思フ
代金モ機關ノ代金モ拂ッテンマッタ後デナケ
レバ、補助金ヲ戴ケナイト云フヤウナ補助
ノヤリ方ハ、目的ト非常ニ遠ザカルノデナ
カラウカト思フノデアリマス、又全部ヲ一纏

テ居ルノデアリマスガ、ソレハモウ其通り
デアリマス、本當ヲ言ヒマシタラ、鰐節ト
云フモノハ四遍モ五遍モ黒ヲ附ケテ製品ス
ルモノデアリマスガ、今日鰐節ニ五番黒ト
云ウテ、黒ヲ五遍モ附ケテ製造シタ鰐節ハ、
先づ日本國中ニハナイト思フノデアリマス、
多ク黒ヲ附ケテモ三遍位附ケルナラバ餘程
ノコトデアリマス、大抵ハモウ一遍モ黒附ケ
セズニ賣ッテ居ルノガ多イノデハナカラウ
カト思フノデアリマス、斯ウ云フ粗製濫造
ヲ致シマスガ爲ニ、賣ルノニモ賣リ惡ウゴ
ザイマスシ、買フノニモ買ヒ惡ウゴザイマ
シテ、鰐節ノ商賣ハ活潑ヲ缺クノデアリマ
ス、之ニ向ッテ政府ガ製品ノ検査ナドヲ致シ
マシテ、サウシテ製品ニ對シテ保證ヲスル
ヤウナ方法ヲ御執リニナツタナラバ、鰐節製
造業者モ商賣ガシ易クナツテ助カルデアラ
ウト思ヒマス、製造業者ガ助カレバ漁業者
ガ助カルノデアリマス、製造業者ガ助カラ
ナイガ爲ニ、漁業者モ折角釣ツテ來タ鰐ヲ
安ク投賣セネバナラナイヤウナコトガ多ウ
ゴザイマスガ、斯ウ云フ方面ニ對シテドン
ナ御意見ヲ持ッテ居ラレルカト云フコトヲ
承ッテ置キタインデアリマス、ソレカラ各種
漁業權ニ對スル許可、漁業權ノ申請ヲ致シ
マシテモ、許可ガ大變遲レルノデアリマシ

テ、譬ヘテ言ヒマスルト、遠洋漁業權ナド
ヲ御願シマスルト、早クテ四年、中ニハ十
年モ掛カルノモアリマス、是ハナゼサウ遲
イノデアルカト聞キマスルト、人ガ少イシ
旅費ガナイシト云フヤウナコトヲ當局ハ言
ウテ居ルヤウデアリマス、ヤハリ許可スル
ノニハ實地ニ調査ヲシナケレバナラナイノ
デアリマスガ、ソレハ日本國中カラ澤山願
出ガアルノデ調査ヲシニ行ク金ガナイバカ
リデナク、人ガナクテ弱ツテ居ル、ダカラ氣
ノ毒デアルケレドモ、早クテ先づ四年待ツテ
ノコトガアリマスガ、是等ニ付キマシテド
ウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレルカラ聞キタイ
ノデアリマス、大體水產方面ニ關スル總テ
立遲レテ居ルト云フコトハ、是ハドナタモ
認メテ居ル所デアリマスガ、何カ政府ニ於
キマシテ少シク豫算ヲ取ッテ漁村ノ實際ヲ
本當ニ眞面目ニ調査研究シテ、ア、云フ間
違ツタ統計ナドヲ餘計集メズニ、本當ニ間違
ノナイ研究ヲシテ、一ツ水產國策ヲ立テヨ
御立テニナル御意思ガアリヤナシヤ、以上
簡單デアリマスガ、御答辯ヲ得レバ幸ヒダ
ト思ヒマス

御意見ヲ聞イテ置キタインデアリマス
ソレカラ是ハ農林省ノ方ニ申上ゲテ宜イ
ノカドウカ知レマセヌガ、参考トシテ御話
ヲ申上ゲタインデアリマス、詰リ漁民ノ生
活ト云フコトニ對シテ先程喜多サンカラノ
質問モアリマシテ、大臣ガ華族デアラセラ
レルカラ、ドウトカ云フ御話モアリマシタ
ルト云フコトハ無理ナノデアリマス、私ハ漁
民ニ同情ノアル大臣デアレバ、ソレハマア適
當デアルト私ハ思フノデアリマシテ、此意
味ニ於キマシテ現農林大臣ハ、吾々漁民力
ラ見テ適當デアルト斯ウ思フノデアリマ
ス、何モ知リマセヌノデ、是カラ一生懸命
ニナツテ研究シタイト云フ、飾ラザル御葉
テ、知ラヌ癖ニ知ツテ居ルヤウナコトヲ言
ニ對シテ、吾々敬意ヲ表スルノデアリマシ
テ、知ラヌ癖ニ対シテ居ラレルヨリモ、其方
ウテ、色々ナ答辯ヲセラレルヨリモ、其方
ガ一番宜イト思フノデアリマス、然ラバ此
意味ニ於キマシテモ、私ノ言フ調査研究ノ
ガ助カルノデアリマスガ、何カ政府ニ於
キマシテ少シク豫算ヲ取ッテ漁村ノ實際ヲ
本當ニ眞面目ニ調査研究シテ、ア、云フ間
違ツタ統計ナドヲ餘計集メズニ、本當ニ間違
ノナイ研究ヲシテ、一ツ水產國策ヲ立テヨ
御立テニナル御意思ガアリヤナシヤ、以上
簡單デアリマスガ、御答辯ヲ得レバ幸ヒダ
ト思ヒマス

ヲシテ戴キマス、前數項ノ點ニ付テ簡単ニ
御答辯申上ゲタイトノデアリマス、第一ヘ漁船
保険ノ制度ニ付テ、ドウ云フ手段方法ヲ
執ツテ居ルカト云フヤウナ御話デアリマス、
是ハ御承知ノ通り地方ニ漁船保険組合ト云
フモノヲ作ラセマシテ、ソレガ元請保険ヲ
シマシテ、國ガ再保險ヲスルト云フ形ニナツテ
居リマス、現在ニ於テハ組合ガ七ツ出來マ
シテ、發起ノ認可ヲシタモノガ四ツアルト
シテ、指揮員ノ補助ナリ、先程申シマシタ組合ノ補
助ヲ合セマシテ、六万四五千圓位ノ程度デア
リマス、本年度即チ昨年ノ六月カラ行ハレ
タモノデアリマシテ、進ミ方トシテハ過去ノ
保険ヨリモ順調ニ進シテ居リマスコトダケ
ハ、申上ゲラレルト考ヘマス、ソレカラ第
二ハ遠洋漁船ノ遭難ニ對シテ、海軍鎮守府
其他ト連絡ヲ取ツテ、モット便宜ヲ與ヘタラ
ドウカト云フヤウナ御質問デ、洵ニ御説ノ
通リデゴザイマス、斯ウ云フコトガゴザイ
マスト、農林省ニモ船ヲ數隻持ツテ居リマス、
サウ云フモノヘ無線デ連絡ヲ取リマシテ、
出来ルダケ現在マデ致シテ居ツタノデアリ
マス、尙ホ斯ウ云フ方面ニ付キマシテモ、
モウ一層念ラ入レタイト考ヘテ居リマス、
ソレカラ第三點ト致シマシテハ各種ノ補助

金、殊ニ漁船ナリ機關ナリノ補助金ノ下付ガ遅レルカラ、早クシテハドウカト云フ御話デアリマスガ、是モ隨分前ヨリモ餘程昨年來早クナッテ居ルコトト、私ハ考ヘテ居リマス、唯昨年ハモノニ依リマシテ實施期ガ非常ニ遅レマシタ關係上、御迷惑ヲ掛ケタ點モアラウト思ヒマス、此點ハ出來ルダケ改メタイト存ジマスルシ、検査ノ一部ハ實ハ縣ニ委任シテ居リマスガ、例ヘバ「エンデン」ノ如キ専門家ハ縣ニゴザイマセヌノデ、或種ノモノハ出來マスルガ、或種ノモノハ出來ナイ、併シ成ベク勉強サンテ委任ノ部分ヲ多クスルヤウニ、現ニヤッテ來テ居リマス、ソレカラ其次ハ打瀬ノ問題デアリマス、無許可ノモノガ發動機ヲ付ケタ打瀬網ヲヤッテ居ルノハドウ云フ譯カ、之ニ對スル處置ハドウスルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ實ハ大變難カシイ問題デアリマシテ、御說ノ通リ今直グ之ヲ禁止致セバ、直チニ路頭ニ迷フノデアリマス、是等ニ付キマシテ、十數年前カラ禁止シテ居ル違犯漁業ヲ、ヤツテ居ルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ惡イ事ヲヤッテ居ル方ノ者共ト、其監督ヲ致シテ居リマスル府縣トニ於キマシテ、種々對案ヲ考ヘテ見テ、如何ニスベキカト云フコトノ相談ヲスベキモノノ筋合ノヤウ

ニ考ヘルノデアリマシテ、農林省ト致シマシテ斯ウシタ方ガ宜イト云フコトハ、一寸此際申上ゲ兼ネマスカラ、此席デ申上ゲヌト云フコトニ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ網目ノ制限、御尤ナ御議論デアリマシテ、現ニ昨年瀬戸内海ノ一部ノ漁業規則ヲ改正シマシタ時ニモ、此網目ノ制限ヲ一部加ヘマシタ、色々ノ漁法、ソレニ連レテ網ノ種類モ多イノデアリマスカラ、是等ニ付キマシテ一ツ尙ホ一層研究ヲ進メタイト存ジテ居リマス、第五點ト致シマシテハ、鰹節ノ等級ニ關スル國營検査ヲスル意思ナキヤ否ヤト云フ御考デゴザイマスルガ、是ハ先程高木サンカラ御話ノ、寧口鰹漁業ノ統制ト云フモノヲ如何ニスベキカト考ヘテ居リマス、其方ヲ決メテカラノ問題ニ致シタイト考ヘテ居ル次第アリマス、左様ニ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ專用漁權バカリデハゴザイマセヌ、外ノ漁權ノ免許ナリ許可ト云フモノガ、非常ニ遅レルト云フコトヲ仰テ是ガ十分デアルトハ考ヘテ居リマセヌノデ、今後特ニ機關ヲ設ケルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、今ハッキリシタ事ヲ申上ゲラレマセヌガ、日本ノ水產國策ヲ確立スル爲ニ十分ニ研究ヲシテ、ソレヲ立テナケレバナラヌト云フ必要ハ、十分ニ感ジテ居ルノデアリマス、附加ヘテ申上ゲマスガ、農林省ノ色々ナ政策ガ農產物ニシテモ水產物

フコトデ、未調査ノ儘更新免許ト云フ印ヲ捺シテ、今迄デモヤッテ居ル次第デ、甚ダ申シテ斯ウシタ方ガ宜イト云フコトハ、一寸此際申上ゲ兼ネマスカラ、此席デ申上ゲヌト云フコトニ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ網目ノ制限、御尤ナ御議論デアリマシテ、現ニ昨年瀬戸内海ノ一部ノ漁業規則ヲ改正シマシタ時ニモ、此網目ノ制限ヲ一部加ヘマシタ、色々ノ漁法、ソレニ連レテ網ノ種類モ多イノデアリマスカラ、是等ニ付キマシテ一ツ尙ホ一層研究ヲ進メタイト存ジテ居リマス、第五點ト致シマシテハ、鰹節ノ等級ニ關スル國營検査ヲスル意思ナキヤ否ヤト云フ御考デゴザイマスルガ、是ハ先程高木サンカラ御話ノ、寧口鰹漁業ノ統制ト云フモノヲ如何ニスベキカト考ヘテ居リマス、其方ヲ決メテカラノ問題ニ致シタイト考ヘテ居ル次第アリマス、左様ニ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ專用漁權バカリデハゴザイマセヌ、外ノ漁權ノ免許ナリ許可ト云フモノガ、非常ニ遅レルト云フコトヲ仰テ是ガ十分デアルトハ考ヘテ居リマセヌノデ、今後特ニ機關ヲ設ケルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、今ハッキリシタ事ヲ申上ゲラレマセヌガ、日本ノ水產國策ヲ確立スル爲ニ十分ニ研究ヲシテ、ソレヲ立テナケレバナラヌト云フ必要ハ、十分ニ感ジテ居ルノデアリマス、附加ヘテ申上ゲマスガ、農林省ノ色々ナ政策ガ農產物ニシテモ水產物

フコトデ、未調査ノ儘更新免許ト云フ印ヲ捺シテ、今迄デモヤッテ居ル次第デ、甚ダ申シテ斯ウシタ方ガ宜イト云フコトハ、一寸此際申上ゲ兼ネマスカラ、此席デ申上ゲヌト云フコトニ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ網目ノ制限、御尤ナ御議論デアリマシテ、現ニ昨年瀬戸内海ノ一部ノ漁業規則ヲ改正シマシタ時ニモ、此網目ノ制限ヲ一部加ヘマシタ、色々ノ漁法、ソレニ連レテ網ノ種類モ多イノデアリマスカラ、是等ニ付キマシテ一ツ尙ホ一層研究ヲ進メタイト存ジテ居リマス、第五點ト致シマシテハ、鰹節ノ等級ニ關スル國營検査ヲスル意思ナキヤ否ヤト云フ御考デゴザイマスルガ、是ハ先程高木サンカラ御話ノ、寧口鰹漁業ノ統制ト云フモノヲ如何ニスベキカト考ヘテ居リマス、其方ヲ決メテカラノ問題ニ致シタイト考ヘテ居ル次第アリマス、左様ニ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ專用漁權バカリデハゴザイマセヌ、外ノ漁權ノ免許ナリ許可ト云フモノガ、非常ニ遅レルト云フコトヲ仰テ是ガ十分デアルトハ考ヘテ居リマセヌノデ、今後特ニ機關ヲ設ケルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、今ハッキリシタ事ヲ申上ゲラレマセヌガ、日本ノ水產國策ヲ確立スル爲ニ十分ニ研究ヲシテ、ソレヲ立テナケレバナラヌト云フ必要ハ、十分ニ感ジテ居ルノデアリマス、附加ヘテ申上ゲマスガ、農林省ノ色々ナ政策ガ農產物ニシテモ水產物

フコトデ、未調査ノ儘更新免許ト云フ印ヲ捺シテ、今迄デモヤッテ居ル次第デ、甚ダ申シテ斯ウシタ方ガ宜イト云フコトハ、一寸此際申上ゲ兼ネマスカラ、此席デ申上ゲヌト云フコトニ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ網目ノ制限、御尤ナ御議論デアリマシテ、現ニ昨年瀬戸内海ノ一部ノ漁業規則ヲ改正シマシタ時ニモ、此網目ノ制限ヲ一部加ヘマシタ、色々ノ漁法、ソレニ連レテ網ノ種類モ多イノデアリマスカラ、是等ニ付キマシテ一ツ尙ホ一層研究ヲ進メタイト存ジテ居リマス、第五點ト致シマシテハ、鰹節ノ等級ニ關スル國營検査ヲスル意思ナキヤ否ヤト云フ御考デゴザイマスルガ、是ハ先程高木サンカラ御話ノ、寧口鰹漁業ノ統制ト云フモノヲ如何ニスベキカト考ヘテ居リマス、其方ヲ決メテカラノ問題ニ致シタイト考ヘテ居ル次第アリマス、左様ニ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ專用漁權バカリデハゴザイマセヌ、外ノ漁權ノ免許ナリ許可ト云フモノガ、非常ニ遅レルト云フコトヲ仰テ是ガ十分デアルトハ考ヘテ居リマセヌノデ、今後特ニ機關ヲ設ケルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、今ハッキリシタ事ヲ申上ゲラレマセヌガ、日本ノ水產國策ヲ確立スル爲ニ十分ニ研究ヲシテ、ソレヲ立テナケレバナラヌト云フ必要ハ、十分ニ感ジテ居ルノデアリマス、附加ヘテ申上ゲマスガ、農林省ノ色々ナ政策ガ農產物ニシテモ水產物

イカト思フノデアリマス、隨テ今後ヘ農林省ノサウ云フヤウナ方面ノ政策ト云フモノハ、主トシテ漁村及ビ山村ノ方面ニ向ケラレルト云フ結果ニナルト私ハ思フノデアリマス、又サウシテ行カナケレバナラヌヤウニ考ヘマス、隨テ日本ノ海外貿易ノ關係カラ言ッテ、遠洋漁業等ヲ盛ニ致シマシテ、水產物ノ多獲ヲ圖リマスト同時ニ、沿岸漁村ノ繁榮ヲ圖ッテ、ソコニ居住スル所ノ漁村ノ人々ノ幸福増進ト云フコトヲ、今後大ニ力ヲ入レナケレバナラスト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレニ付キマシテ御意見ノゴザイマシタヤウナ國策ヲ——今後ノ方針ヲ決定スル爲ニ何等カノ方法ヲ執リタイト考ヘテ居リマス

イカト思フノデアリマス、隨テ今後ハ農林省ノサウ云フヤウナ方面ノ政策ト云フモノハ、主トシテ漁村及ビ山村ノ方面ニ向ケラレルト云フ結果ニナルト私ハ思フノデアリマス、又サウシテ行カナケレバナラヌヤウニ考ヘマス、隨テ日本ノ海外貿易ノ關係カラ言ツテ、遠洋漁業等ヲ盛ニ致シマシテ、水產物ノ多獲ヲ圖リマスト同時ニ、沿岸漁村ノ繁榮ヲ圖ツテ、ソコニ居住スル所ノ漁村ノ人々ノ幸福増進ト云フコトヲ、今後大ニ力ヲ入レナケレバナラスト考ヘ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレニ付キマシテ御意見ノゴザイマシタヤウナ國策ヲ——今後ノ方針ヲ決定スル爲ニ何等カノ方法ヲ執リタイト考ヘテ居リマス

洵ニ漁村トシマシテハ、成年期ニ達シタ如クニ、光榮ニ考ヘルノデアリマスガ、遺憾ナガラ此時節ニ順應致シマスニ付テハ、色色ナ條件ガソコニアルノデアリマス、而モ漁村ハ既ニ行詰ツテ居ル、果シテ今回ノ産業組合法ヲ改正シテ、金庫ヲ施設致シマシテ、之ヲ利用スルコトガ出来ルデアラウカドウカト云フコトヲ、私ハ心配スルノデアリマス、今回御獎勵ニナツテ居ルノハ、此金庫ヲ利用スルモノハ、漁業協同組合、漁業組合聯合會ト云フモノヲ組織スルコトガ條件ト

ニナリマシタガ、獨リ漁村ニ對シマシテ
ハ今日マデ放任サレテアツタ、決シテ國策ノ
上カラ顧ミナイト云フノデハナカツタノデ
アリマセウガ、漁村ノコトヲ考ヘル暇ガナカツ
タノト、山村、漁村ト云フモノガヤカマシク叫
バレタ爲ニ、後廻ハシニナツタヤウニモ考ヘ
ルノデアリマス、所ガ今日マデ捨テ、置カ
レタガ爲ニ、今ヤ病膏肓ニ入リマシテ、救
濟スルコトノ出來得ナイヤウナ狀態ニ、漁
村ガ置カレテアリハシナイカト思フノデア
リマス、今回御提案ニナッテ居リマス法案ノ
如キハ、漁村ニ對シマシテモ、産業組合ノ
系統ニ依ツテ金融ノ途ヲ開イテヤラウ、漸ク
金融方面カラ漁村モ一人前ノ大人トシテ認
メラレタヤウナコトニナツタノデアリマス、

圓ニ満タナイヤウナ漁業組合ガ、農林省ノ
方針ニ基イテ、サウンデ出資ヲ致シテ、其
協同組合ニ改組致シテ居ルノデアリマス、
コンナ微々タル協同組合ガ、果シテ本當ニ
農林省ノ期待サレテ居ラレル、漁業協同組
合ノ本領ヲ發揮スルコトガ出來ルデアラウ
カト云フコトヲ、私ハ心配スルノデアリマ
ス、又一面カラ考ヘテ見マスルナラバ、假
令小サイ漁業協同組合ニ致シマシテモ、農
林省ノ獎勵ノ方針ニ基イテ、斯ウ云フ組織
ヲ改メ得ル所ノ力ノアル漁業者ハ、謂ヘバ

サレテ居ルノデアリマスルガ、漁業組合改
組ノ結果ハ、四千ノ漁業組合ノ中漸ク千七
百デアリマス、約四割ガ改組サレテ居ルノ
デアリマスルガ、此改組サレタ漁業協同組
合ト云フモノガ、政府當局ガ御期待シテ居
ラレタ如クニ、眞ニ漁業協同組合ト云フモ
ノノ本然ノ効キヲシテ居ルカドウカト云フ
コトヲ私ハ伺フノデアリマス、漁業協同組
合ト一概ニ申シマシテモ、隨分力ノ大キイ
組織ノ下ニ出來テ居ル組合モアリマスシ、
又漸クニシテ協同組合ノ仲間ニ、辛フジテ
入ッタト云フヤウナ組合モアルノデアリマ
ス、現ニ私ノ縣ノ如キハ、特殊ナル事情ニ
置カレテアリマスルガ、極ク僅カ一箇年ノ
漁獲高ガ一万五六千圓位ノ程度、或ハ一万

リマスル、尙ほ先程喜多君ノ御質問ニ依リ
マシテ、三宅政府委員カラ御答辯ニナリマ
シタガ、私ハ三宅政府委員ノ御立場ヲ考ヘ
マスルト、ハッキリト御答ヲナサルコトガ出
來得ナイ事情ニ居ラレルノダラウト、私ハ
御察シスルノデアリマス、一體今日マデ農
林省ハ水産業ニ對シテ甚ダ水臭イ施設デア
リマス、普通ノ農事ニ於キマシテモ、或ハ
治山、治水ノ林業方面ニ於キマシテモ、相
當ノ施設ヲ以テ、之ヲ今日マデ引伸バシテ
來ラレタノデアリマスガ、此水産業ニ對シ

相當力ノアル漁業者デアリマス、自力デ行ク所ノ能力ヲ持ッテ居ル所ノ漁業者デアリマス、トコロガ今日ノ多數ノ漁民ハ、逆モサウ云フ組織ヲ作ルコトハ出來得ナイ、農林省ガ折角御獎勵ニナリマシテモ、尙ホ六割ト云フモノハ改組シ得ナイ實情ニ置カレテ居ル、斯ウ云フ力ノ無イ漁業者コソ、眞ニ私ハ救ツテ行カナケレバナラヌ漁業者デハアルマイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、即チ大乘的ニ力ノ弱イ多數ノ漁業者、漁民ヲ救ツテ行クト云フコトデナケレバ、私ハ折角ノ施設モ、唯上級ノ力ノアル者ニ更ニ助成スルト云フコトニ終リハシナイカト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ特ニ農林大臣ノ御所見ヲ承リタイト思フノデア

マシテハ——私ハ全然施設ガナイトハ申シ
マセヌ、相當ノ機關、組織、機構ヲ備ヘテ
居ラレルノデアリマスルガ、私ハ餘リ繼子
扱ヒヲシテ居ラレルヤウナ感ガスルノデア
リマス、今日水産業ノ立場ハドウデアルカ、
是ハ過去ノ神代ノ時代ノ漁業ハ知リマセヌ
ガ、我ガ日本ノ現在又將來ヲ考ヘマスト、
此漁業ト云フモノ、水産ト云フコトガ、非
常ニ我が國力ノ進展ニ偉大ナル責任ヲ持ッテ
居ルト思フノデアリマス、トコロガ今日マ
デ此水産ト云フコトハ、自然ニ獲レテ自然
ニ委シテ置ケバ宜イト云フ風ニ放任サレテ
居ツタノデハナイカ、ソレガ稍、資本主義的
ニ營ムヤウニナック結果、色々ナ助成ガ行ハ
レタノデアリマスルケレドモ、殆ド不徹底
デアル、不徹底デアリマスルカラ、當業者
ハ殆ド國ノ力ニ依ラズシテ、自分ノ命ヲ
投出シテ、自分ノ力デ活躍シテ、今日ノ水產
業マデ引摺リ持ッテ來タ今日デアルマイカ
ト云フコトヲ、私ハ考ヘサセラレルノデア
リマス、トコロガ最早自分ノ力ニ依ッテ、此
業ヲ支ヘルコトガ出來得ナイヤウナ四圍ノ
環境ニ置カレテ居ルノデアリマス、先程喜多
君ノ御話ニナリマシタ通り、沿岸漁業ト云
フモノハ殆ド絶滅デアリマス、此沿岸漁業ノ
絶滅ニ對シマシテハ、世ノ中ノ經濟關係モア

リマセウガ、私ハ考ヘマスノニ、寧ロ他カラ
來タ原因ニ依ッテ沿岸漁業ト云フモラガ荒ラ
サレタモノデアル、即チ人口ノ増殖ト、近代
科學ノ發達ニ依ッテ、斯ク沿岸漁業ト云フモ
ノガ、不毛ノ地ニ陥ツテシマツテ居ル、是ハ
農林當局モ御認メニナツテ居ルト思ヒマス、
而モ此近代科學ノ害毒ニ依ッテ、沿岸ガ荒廢
ニ歸シテ居ル、一旦荒廢ニ歸シマシタナラ
バ、全然之ヲ回復スルコトガ出來得ナイノ
デアリマス、而モ此被害ニ對シテ、何等對
策ヲ國家トシテ講ゼラレテ居ラナイ、ソレ
デアリマスルカラ、段々魚族ガ沿岸ヲ遠ザ
カツテ、爲ニ遠洋ニ出漁シナケレバナリマセ
ヌガ、遠洋漁業ハ微力ナル當業者ノ敢テ企
テ及ブヤウナ仕事デハナイノデアリマス、
大資本ヲ持ッテヤラナケレバ出來得ナイ漁
業デアリマス、此沿岸漁業ガ廢滅ニ歸セン
ト致シテ居リマスル其原因ヲ考ヘマスルノ
ニ、私ハ先程申シマシタ近代科學ノ發達ニ
依ッテ、サウシテ此沿岸ガ荒廢ニ歸シテ居ル
ノデアリマス、之ヲ何トカシテ救ハナケレ
バナラナイ、ニモ拘ラズ今日我ガ國策トシ
ト思フノデアリマス、然ルニ今日マデ遺憾
ナガラ國家トシテ、是等ノ施設ニ徹底的ナ
研究ガ積シテ居ラナイ、業者自ラガ色々
苦心慘憺シテ研究ハ致シテ居リマスルガ、
國家ノ力ニ依ッテ、斯ウ云フ風ナ事業ニ對シ
上、サウ云フ風ナ力ノナイ者ニ貸シ得ラレ
ナイ、是ハ獨リ今回ノ施設ノミナラズ、過

汚水ト云フ問題ニ對シテ、何等ノ對策モ講
ジテ居ラレナイ、斯ウ云フ狀況デアリマス
ノカラ、力弱キ漁業者ハ、獨リ業ヲ失フヨ
リ仕方ガナインデアリマス、サウシテ色々
ノガ、不毛ノ地ニ陥ツテシマツテ居ルト思ヒマス、
農林當局モ御認メニナツテ居ルト思ヒマス、
而モ此近代科學ノ害毒ニ依ッテ、沿岸ガ荒廢
ニ歸シテ居ル、一旦荒廢ニ歸シマシタナラ
バ、全然之ヲ回復スルコトガ出來得ナイノ
デアリマス、而モ此被害ニ對シテ、何等對
策ヲ國家トシテ講ゼラレテ居ラナイ、ソレ
デアリマスルカラ、段々魚族ガ沿岸ヲ遠ザ
カツテ、爲ニ遠洋ニ出漁シナケレバナリマセ
ヌガ、遠洋漁業ハ微力ナル當業者ノ敢テ企
テ及ブヤウナ仕事デハナイノデアリマス、
大資本ヲ持ッテヤラナケレバ出來得ナイ漁
業デアリマス、此沿岸漁業ガ廢滅ニ歸セン
ト致シテ居リマスル其原因ヲ考ヘマスルノ
ニ、私ハ先程申シマシタ近代科學ノ發達ニ
依ッテ、サウシテ此沿岸ガ荒廢ニ歸シテ居ル
ノデアリマス、之ヲ何トカシテ救ハナケレ
バナラナイ、ニモ拘ラズ今日我ガ國策トシ
ト思フノデアリマス、然ルニ今日マデ遺憾
ナガラ國家トシテ、是等ノ施設ニ徹底的ナ
研究ガ積シテ居ラナイ、業者自ラガ色々
苦心慘憺シテ研究ハ致シテ居リマスルガ、
國家ノ力ニ依ッテ、斯ウ云フ風ナ事業ニ對シ
上、サウ云フ風ナ力ノナイ者ニ貸シ得ラレ
ナイ、是ハ獨リ今回ノ施設ノミナラズ、過

污水ト云フ問題ニ對シテ、何等ノ對策モ講
ジテ居ラレナイ、斯ウ云フ狀況デアリマス
ノカラ、力弱キ漁業者ハ、獨リ業ヲ失フヨ
リ仕方ガナインデアリマス、サウシテ色々
ノガ、不毛ノ地ニ陥ツテシマツテ居ルト思ヒマス、
農林當局モ御認メニナツテ居ルト思ヒマス、
而モ此近代科學ノ害毒ニ依ッテ、沿岸ガ荒廢
ニ歸シテ居ル、一旦荒廢ニ歸シマシタナラ
バ、全然之ヲ回復スルコトガ出來得ナイノ
デアリマス、而モ此被害ニ對シテ、何等對
策ヲ國家トシテ講ゼラレテ居ラナイ、ソレ
デアリマスルカラ、段々魚族ガ沿岸ヲ遠ザ
カツテ、爲ニ遠洋ニ出漁シナケレバナリマセ
ヌガ、遠洋漁業ハ微力ナル當業者ノ敢テ企
テ及ブヤウナ仕事デハナイノデアリマス、
大資本ヲ持ッテヤラナケレバ出來得ナイ漁
業デアリマス、此沿岸漁業ガ廢滅ニ歸セン
ト致シテ居リマスル其原因ヲ考ヘマスルノ
ニ、私ハ先程申シマシタ近代科學ノ發達ニ
依ッテ、サウシテ此沿岸ガ荒廢ニ歸シテ居ル
ノデアリマス、之ヲ何トカシテ救ハナケレ
バナラナイ、ニモ拘ラズ今日我ガ國策トシ
ト思フノデアリマス、然ルニ今日マデ遺憾
ナガラ國家トシテ、是等ノ施設ニ徹底的ナ
研究ガ積シテ居ラナイ、業者自ラガ色々
苦心慘憺シテ研究ハ致シテ居リマスルガ、
國家ノ力ニ依ッテ、斯ウ云フ風ナ事業ニ對シ
上、サウ云フ風ナ力ノナイ者ニ貸シ得ラレ
ナイ、是ハ獨リ今回ノ施設ノミナラズ、過

去ニ於ケル中小商工業者ノ救濟資金ノ如キ、立派ナル組織ニ依ッテ貸シ與ヘテヤル途ハ與ヘテアリマスルケレドモ、遺憾ナガラ之ヲ利用スルコトガ出來得ナイ、洵ニ小乗的ナ、力ノアル者ヲ助ケテ力ノナイ者ハ助ケ得ラレナイト云フヤウナ組織ニナツテ居ルコトヲ私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、斯ウ云フ機會ニ私ハ農林當局ガ根本的ニ日本ノ水産業ノ現狀ヲ再認識セラレマシテ、本當ノ救濟ノ手ヲ差伸ベテ戴キタレイト云フコトヲ申述ベテ農林大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス、殊ニ今後時局ノ發展ガ如何ニナリマスカハ知リマセヌガ、既ニ此時局ノ影響ト致シマシテ棉花ノ暴騰ニ依ッテ網其他漁具ノ非常ナル不自由ヲ感じテ居リマス、サウシテ漁網等ノ仕上げニ使ヒマスル所ノ濫ノ如キモ全然輸入ガ杜絶致シテ居リマス、ソレガ爲ニ漁獲ハ出來ナイ、燃料國策ノ關係上「ガソリン」ガ上リ重油ガ上ヅテ來テ、漁業者ハ非常ナル資力ヲ要スルヤウニナツテ來タ、微力ナル力デハドウシテモ漁業ハ營マレナイト云フヤウナ狀況ニ置カレテ居ルノデアリマス、是ハ漁業者自體ノ苦シミハ勿論デアリマスルガ、國家ノ資源ノ上カラ、國民全體ノ保健上カラ考ヘテ見マシテモ、此漁業ト云フモノヲ困難ナ

状態ニ置イテオイテ宜イノデアルカ、私ハ
國策トシテ一日モ早ク眞ニ徹底シタル所ノ
水産業ニ對スル對策ヲ立テラレマシテ、サ
ウシテ一面漁業者ヲ救濟スルハ勿論ノコ
ト、我ガ國民ノ將來ニ對シテ榮養關係カラ
考ヘテ見マシテモ、此漁業ト云フコトヲ今
一層考ヘテ行カナケレバナラヌト思フノデ
アリマス、ドウカ私ガ申上ゲタコトハ多岐
ニ亘リマシテ統一ヲ缺イテ居ツタカ知レマ
セヌガ、以上申シマシタ點ニ對シマシテ、
農林大臣トシテノ御所見ヲ承リタイト思フ
ノデアリマス

融ノ途ノナイ人ニ金ガ行クト云フコトデナケレバ、斯ウ云フ途ヲ開キマシテモ、意味ハナイト思フノデアリマス、サウ云フ金融ノ途ノ付カナイヤウナ人ニ、金融ノ途ヲ付ケル方法ト致シマシテハ只今ノ所産業組合若クハ漁業協同組合ト云フヤウナモノヲ利用致シマシテ、産業組合中央金庫又ハ政府ガ之ヲ通シテ資金ノ融通ヲ圖ルト云フコトガ最モ良イ形式デアルト私等ハ思フノデアリマス、隨テ今回斯ウ云フコトニナッタノデアリマスガ、併シ理論ハサウデアッテモ、實際ノ取扱ノ上ニ於テ、ソレガ其通りニナ

思フノデアリマス、私ハ唯々茲ニ金融ノ途ヲ聞
イタカラト云ッテ、ソレデ決シテ満足スル者
デハナイノデアリマシテ、之ヲ通シテ漁村
ノ有ユルコトノ振興或ハ救濟ト申シマスカ
サウ云フ之ニ關聯致シマス有ユル事柄ヲ、
共ニ實行シテ行カナケレバナラナイト云フ
コトハ十分ニ考ヘテ居ルノデアリマス、私
中央金庫ニ居リマシタ所ノ經驗カラ申上ガ
マスレバ、例ヘバ損失補償ノ金デ國ガ損失
ノ補償ヲシテ居ルヤウナ金デアリマスレバ、
可ナリ思切ツテ其資金ノ融通ヲシテモ宜イ
筈ナノデアリマスケレドモ、ヤハリ後カラ

○有馬國務大臣 縷々御述ニナリマシタ點
ニ付キマシテ、至極私モ御同感デアリマス
ガ、今回ノ此産業組合中央金庫法ヲ改正致
シマシテ、漁業金融ノ途ヲ開キ得ルヤウニ
致シマシタ云フコトハ、先程モ申述べマ
シタ通リニ、漁村ノ振興ノ上、又漁民ノ救
濟ノ點カラ申シマシテ、金融上ノ困難ト云
フコトヲ、先ヅ救濟シナケレバナラナイト
云フ多年ノ宿望ニ依リマシテ、今回ノコト
ガ行ハル、コトニナッタノデアリマス、併
シ只今モ御述ニナリマシタヤウニ、實際ニ
金融ノ途ノ得ラレル者ニ此金ガ行クト云フ
コトデハ、眞ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナ
イノデアリマスカラ、實際ニ困ツテ居ル金

融ノ途ノナイ人ニ金融ガ行クト云フコトデナケレバ、斯ウ云フ途ヲ開キマシテモ、意味ハナイト思フノデアリマス、サウ云フ金融ノ途ノ付カナイヤウナ人ニ、金融ノ途ヲ付ケル方法ト致シマシテハ只今ノ所産業組合若クハ漁業協同組合ト云フヤウナモノヲ利用致シマシテ、産業組合中央金庫又ハ政府ガ之ヲ通シテ資金ノ融通ヲ圖ルト云フコトガ最モ良イ形式デアルト私等ハ思フノデアリマス、隨テ今回斯ウ云フコトニナツタノデアリマスガ、併シ理論ハサウデアッテモ、實際ノ取扱ノ上ニ於テ、ソレガ其通リニナラナケレバ、意味ヲ成サナイデヤナイカト云フヤウナ御考ヲ當然懷カレルデアラウト思フノデアリマス、其點ハ私共ト致シマシテ出來ルダケ監督モシ、獎勵モ致シマシテ、此改正ヲ致シマシタ趣意ガ十分ニ貫徹サレルヤウニ努メテ參ル積リデアリマス、産業組合中央金庫ノ資金ナリ又政府ノ資金ナリト云フモノガ此機關ヲ通シテ漁業組合聯合會、若クハ漁業協同組合ト云フヤウナモノヲ通シテ極ク低イ程度ノ漁民ノ方へ此資金ガ流レテ行クト云フコトニナリマスレバ、ソレハ單ニ金融上ノ利益バカリデナシニ、ソレヲ通シテ漁村ノ今後ノ指導ナリ色色ナコトニソレガ活用サレテ行クダラウト

思フノデアリマス、私ハ唯々茲ニ金融ノ途ヲ開
イタカラト云ッテ、ソレデ決シテ満足スル者
デハナイノデアリマシテ、之ヲ通シテ漁村
ノ有ユルコトノ振興或ハ救濟ト申シマスカ
サウ云フ之ニ關聯致シマス有ユル事柄ヲ、
共ニ實行シテ行カナケレバナラナイト云フ
コトハ十分ニ考ヘテ居ルノデアリマス、私
中央金庫ニ居リマシタ所ノ經驗カラ申上ガ
マスレバ、例ヘバ損失補償ノ金デ國ガ損失
ノ補償ヲシテ居ルヤウナ金デアリマスレバ、
可ナリ思切ツテ其資金ノ融通ヲシテモ宜イ
筈ナノデアリマスケレドモ、ヤハリ後カラ
回収ノ出來ナイヤウナ金ハ成ベク出サナイ
ト云フ風ナ態度ラドウシテモ取扱者ガ執ル
ノデアリマス、ソレデハ實際ニ困ツテ居ル者
ガ救ハレナイト云フ結果ニナルノデアリマ
スカラ、損シテモ宜イト云フコトハ申サレマ
セヌケレドモ、成ベク多少ノ無理ガアツテモ、
困ツテ居ル人ニハ十分ニ金融ヲシテヤルト
云フ風ニ致シマスルヤウニ、指導モシ、サ
ウ云フ風ニ傳ヘテ參リタイト考ヘテ居リマ
ス、只今御述ニナリマシタ諸種ノ點ニ付キマ
シテハ、至極御同感デアリマシテ、只今申
上ガマシタヤウニ、私共ハ決シテ茲ニ金融
ノ途ヲ開イタト云ッテ、ソレデ満足スル者デ
ハナイノデアリマス、之ニ附隨致シマシテ、

監査ヲ行ッテ、何處迄モ産業組合ノ精神ニ副出來タノデアリマシテ、政府ト致シマシテノ監督ト云フコトニハ別ニ變リハナイノデウタ正シイ運動ニシテ行キタイト云フ爲ニ

○河合委員 御趣旨ノアル所ハ能ク諒承致

シマシタ、所ガ在來ノ監督ガ不十分デアッタ
ト云フ事實ヲ證據立テマス爲ニ、私ハ最モ
顯著ナ一ツノ事例ヲ申上ゲテ見タイト思ヒ
マスガ、實ハ是カラ私ガ申述ベヨウト致シ
テハ、再三縣ノ方ニモ申出テ參リマシタン、
又農林省ノ方ヘモ參リマシテ此事ハオ耳ニ
入ッテ居ル管ナノデアリマス、ドウ云フヒド
イ事實ガアッタカト云フト、ソレハ斯ウ云フ
コトガアッタノデアリマス、實ハ私ノ住ンデ
居リマス所ノ高砂町ト云フ小サナ町ニ信用
組合ガアルノデアリマスガ、其專務理事ヲ
シテ居リマス人ガ、全體ノ出資ガ僅カ三万
六千圓シカナイ其信用組合ニ於キマシテ、
專務一人ノ負債ガ二万四千六十五圓九十四
錢アルノデアリマス、是ノ内譯ヲ申シマ
スト、大正十四年八月二十六日契約シタ極
度金三千圓ノ當座取引ニ對スル分ガ、其後
元利金ノ入金ガナカッタノデ、延滯利息ハ三
箇月目毎ニ元金ニ繰入レ、順次計算シテ、

四錢ト云フヤウナ金額ニ達シテ居ルニ拘ラズ、今マデ由利ニ對スル貸付ノ分ニ付テ是所デマダ私ハ驚キ入リマシタコトハ、斯ウ云フ狀態ヲ見逃シテ居ルバカリデナク、縣ノ當局ナリ農林省カラ出張サレマシテ検査ヲサレタ方ガ、ドウモソレヲ希望スルヤウナ言辭ヲ弄セラレテ居ルノデアリマス、是ハ其債務者タル由利駒吉ナル者ガ神戸ノ地方裁判所ノ小林判事ニ提出致シマシタ上申書ナルモノノ中ニ、斯ウ云フコトガ書イテアルノデアリマス「昭和十二年十一月一日兵庫縣農政課産業係齋藤勝太郎、井上徹兩氏出張、當組合現況調査ノ爲、一切帳簿記錄其他擔保ニ關スル書類提出スペキ旨告示サレタルニ依リ、左記ノ通り提出シ檢閱ヲ受ケタリ、右調査時間午前十時ニ始マリ午後七時ニ至ル、翌二日午前九時更ニ前記兩氏來訪、昨日ニ引續キ綿密ニ調査ノ結果午後七時半終了ス、然ルニ前記兩氏調査ノ結果、組合ニ對シ何等訓諭戒告モ受ケズ、却テ一切記録ニ付別儀ナキ旨言明セラレタリ」、是ガ縣ノ検査ヲ受ケタ際ノ事情デアリマス、

次ハ農林省カラ米澤事務官ガ御出デニナツ
ウナノデアリマス、「同月二十七日農林省產
業組合検査官産業組合事務官米澤恒雄殿及
隨員竝ニ兵庫縣產業組合係近藤主事補殿同
組合ニ相見エ、組合ノ現況調査ノ旨告示セ
ラレ、由利駒吉ト組合トノ關係事項ニ關ス
ル一切帳簿書類等ノ提出ヲ命ぜラレタルニ
依リ、關係帳簿一切ヲ提出閱覽ニ供シタリ、
右調査ハ午前十時開始午後二時終了セリ、
其結果何等前回同様訓諭戒告ヲ受ケズ、但シ
農林省米澤事務官ハ組合ガ由利個人ヲ補助
スル爲ニ、種々ノ動作ヲ爲スハ不可ナルモ、
由利ヲ補助スルコトガ組合ノ利益トナル限
リハ一切差支ヘナク、且ツ組合ガ由利ノ和
議事件ニ付、組合ノ利益ノ爲ニ和議ヲ成立
セシムルベク、總テノ動作ヲ爲スコトハ何
等差支無之、斯ノ如ノ諸種ノ障礙アルモ組
合ノ爲メ理事監事諸君一同ハ由利組合長ヲ
救ケ、協力一致非常時局ヲ認識シ、産業組
合使命遂行ニ充分奮勵努力セラルベキ旨申
聞ケラレタリ、前者後者ノ出張監査ヲ促シ
タルハ、縣及農林省ニ對シ、本件異議債權
者一派ガ種々ノ事項ヲ捏造牽強附會ノ陳述
書ヲ提出ノ結果ニ基ク旨米澤事務官殿ノ言
明有之候、而シテ同日陳情者ニ對シ」云々

シマシテ、「米澤事務官殿及ビ縣ハ役員一部組合員ヨリノ陳情ナドハ一切取上ヌジ、役員一致協力以テ組合使命達成ニ努力邁進仕ル決心ニ御座候」斯ウ云フコトヲ裁判所ニ上申シテ居ルノデアリマスガ、是ハ爲ニスル目的デ此專務理事ナル者ガ偽リヲ申シテ居ルノカドウカハ知リマセヌガ、兎ニモ角ニモ裁判所ヘ提出致シマシタ上申書ノ中ニ斯ウ云フコトガ書イテアルノデアリマスカラ、一應ハ米澤検査官ニ是ガ事實デアツタカナカッタカト云フコトヲ御尋スル必要ガアルノデアリマス、自治監査法ガ制定サレルコトモ無論私ハ賛成デアリマスガ、斯ウ云フヤウナ甚シキ事態ガアルニ拘ラズ、組合員ガ其事ヲ縣ニ参リマシテ注意致申上ゲマシテモ、ソレハ反産運動ノ一ツノ現レデアルト云フヤウニ取扱ハレマシテ、少シモ耳ヲ御藉シニナラズ、却テ斯ウ云フ失態ヲスル組合ノ幹部ニ激励ノ言葉ヲ與ヘラレルニ至ツテハ、私ハ呆然トシテ口ヲ塞ガコトガ出來ナイノデアリマス、私ハ此事

ガ事實デアルヤ否ヤト云フコトヲ御尋シタ
イ、元來私ハ私ノ立場カラシテ無論産業組合ノ發達ヲ希望シテ居ル所ノ一人デアリモ考ヘテヤラナクテハイケナイ、私ハ商人ニ對シテ常ニ申スコトデアリマスガ、産業組合、消費組合、購買組合、怖ル、ニ足ラヌデハナイカ、君達ノ努力ガ足ラナイカライケナイノダト云フコトヲ私ハ始終申シテ居ルノデアリマス、私ハ東京ヘ參リマシテカラ餘リ日モ經チマセヌノデ、總テノ事情ハ能ク分リマセヌケレドモ、東京ニ於テモ最モ習熟シタル所ノ生活ヲシテ居ル地區ニ於キマシテハ、例ヘバ新橋ノアノ烏森ト申シマスノカ、アノ邊トカ、或ハ日本橋ノ中心ナドヘ行ッテ見マスト、色々ノ物ヲ纏メテ賣ルヤウナ「マーケット」ナドハ發達シテ居ラヌノデアリマス、ヤハリ古クカラアル所ノ店カラ買ッテ居ル、或ハ紙ナラバ榛原ヘ行ッテ買フトカ、海苔ハ山本ヘ行ッテ買フトカ云フヤウナ風デアリマシテ、商人为本當ニ力ヲ入レテ使命遂行ノ爲ニ努力ヲ致シマスナラバ、決シテ産業組合ヤ購買組合ハ怖ル、ニ足ラヌノデアリマス、ドレ程産業組合ガ發達致シマシテモ、我國ニ於ケル消費經濟ノ總テノ機能ヲ引受ケルコトハ到底出

ガアル、商人ノ領分、或ハ産業組合ノ領分ト云フモノハ、ハッキリ致シテ居ルノデアリマスカラ、私ハ如何ニ産業組合ノ肩ヲ持ツカラト申シテモ、總テノ商人ヲ壓ヘテシマフヤウナコトハ間違テ居ルト思フノデアリマス、所ガ私ガ只今申上ゲマシタヤウニ信用組合ガ購買ヲモヤッテ居ルノデアリマシテ、私ノ町ニ於キマシテハ、此組合ニ加入シテ居ル所ノ家數ハ僅カ二百世帯デアリマス、人口ハ一万二三千アルノデアリマスガ、極ク一部分ノ人ガ加入シテ居ルノデアリマス、其組合ガ時々斯ウ云フ年末謝恩大賣出シト云フヤウナ廣告ラシテ、商人ガ逆モ賣ルコトノ出來ナイヤウナ値段デ賣ッタノデアリマス、二百軒シカ加入者ガナイ町ニ於テ三千枚モ斯ウ云フ廣告ヲ配ルノデアリマス、ソレカラ辻々ニ立看板ヲ立て、糯米ハ一升幾ラデ賣ルト云フヤウニ書ク、是ハヨク商人ノヤル前賣リト云フコトデ、或ル一ツノ品物ニ損ラスル所ノ値段ヲ掲ゲテ、此品ナレバ是ダケデ賣ルト云フコトヲ廣告シテ、客ヲ引ッ張リ込ンデ他ノ品物ヲ賣ッテウント口錢ヲ取ル、是ガ前賣リト申スモノデアリマスガ、此手ヲヤックノデアリマス、是ハ先年モ豆炭ヲヤハリ信用組合ガ逆

モ商人へ賣ルコトノ出來ナイヤウ値段デ賣出シタ、豆炭ハ製造元トノ特約店ガ土地ニアリマスノデ、特約店以外ニ賣ルコトハ出來ナイト云フ規定ガアルニ拘ラズ、信用組合ガ手ヲ廻シマシテ其品ヲ買ツテ來テ安ク賣出石ノ何トカ云フ所カラ澤山買ツテ參ッタト云シマシタ、ソレヲ調查致シマシタ結果、明石ノ何トカ云フ所カラ澤山買ツテ參ッタト云フコトガ分ッタモノデアリマスカラ、販賣元ノ大阪ノ商人ガ中ヘ入リマシテ話ヲシタ結果、炭問屋ノ組合カラ三百圓ノ金ヲ出スコトニシテ、ソレノ販賣ヲ止メテ貰ッテ、其商品ヲ全部炭屋ノ組合ガ引受ケタト云フ話ガアルノデアリマス、即チ信用組合ハ商人ヲ脅シテ三百圓セシメタト云フ結果ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデサウ云フ事情ヲ縣ヘ申立テマスト、縣ノ商工課ニ於テハ、ソレハ怪シカラヌト言ツテ下サッタノデアリマス、併シ農政課ノ方ヘ參リマスト、ソレハ君、ソンナ廣告ヲ出シタカラト云ッテ、賣ラナケレバ宜イノデハナイカ、廣告ダケデソンナニ氣ニシナイデ、君達ハノデアリマス、同ジ縣ノ中モ斯ウ云フヤウニ相剋摩擦ガアル、商工課ノ方デハ、ソレハ怪シカラヌト言ツテ吳レルケレドモ、ノデアリマス、同ジ縣ノ中モ斯ウ云フヤウニ相剋摩擦ガアル、商工課ノ方デハ、ソ

モ之ヲ庇シテマデ、產業組合、購買組合ヲ指導シヨウト云フヤウナ事實ガ、現ニ兵庫縣廳内ニアルノデアリマス、相剋摩擦ト云フコトコトガ甚ダイケナイコトデアルト云フコトハ、始終近衛首相モ申サレテ居リマスガ、オ役所ノ中ニ斯ウ云フ相剋摩擦ガ行ハレテ居ルノデス、サウシテ其組合外ニモ註文ヲ聞キニ行ッテ物ヲ賣ッテ居ル事實ガ澤山アルノデアリマス、是ハ證據ガアルノデアリマス、ソレヲ縣廳へ申シテ行キマシテモ、農政課ニ於テハ取合シテ吳レナイノデアリマス、實ハ組合員ガ非常ニ困リマシタ結果、私ニ賴ンデ來マシタノデ、私ハ組合員ノ代リニナツテ農林省ノ產業組合課へモ參ッテ其事ヲ御話致シタノデアリマス、名前ハ忘レマシタガ、一人ノ役人ノ方ハ、ソレナレバ、アナタ議會ガ濟シデ歸リニ縣廳へ寄ッテ縣ノ役人ニシッカリ其事ヲ言ッテ吳レト言ハレマシタ、ソレデ私ハ此前ノ特別議會ノ時ダックト記憶シテ居リマスガ、歸リニ寄ッタノデアリマス、所ガ農政課ノ課長ハ右田トカ云フ事務官デアリマシタガ、私ニ喰テ掛けッタ、アナタハ組合員デスカト云フ譯デス、私ハ實ハ產業組合ノコトニ付テハ能ク分ラナイモノデスカラ仙石サンニモ相談ヲシタノデスガ、其時ニモ、國政ヲ監督ス

ルト云フ立場カラ、サウ云フコトヘ君ニ農林省ヘモ行ツテ話シテ貰フシ、地元ノ縣廳へ行ツテモシッカリ言ツテ貰ハナクテハナラヌト言ハレタカラ、縣廳ヘ寄ツタノデアリマス、所ガ、君ハ組合員カ、斯ウ尋ネラレタ、組合員デアリマス、君ハ何カ、預金ヲシテ居ルカ、斯ウ云フコトヲ尋ネラレタノデアリマス、ソレカラ此事ヲ經濟部長ニ話シマスト、經濟部長ヘ、甚ダ遺憾ニ思フト言ハレマシタガ、直接監督ノ任ニ當ツテ居ル所ノ農政課ノ役人ハ、サウ云フ態度デ居ルノデアリマス、私ハ過日東京ヘ参リマシテカラ、斯ウ云フコトニカケテハ玄人ノ方カラ聽イタノデアリマスガ、全國ニサウ云フ失態ハ澤山アルト云フコトヲ其時ニ私ハ聽カラレタ、偶是ハ一地方ノ小サナ問題ニ過ギナイカモ知レマセヌケレドモ、其方カラ聽イタ所ニ依リマスト、全國ニハサウ云フコトハ澤山山積シテ居ルト云フコトヲ聽イタモノデアリマスカラ、若シソレガ事實トスレバ、是ハ放ツテ置ク譯ニ行カヌ問題デアルト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ事實ガアリマスコトハ、政府委員トシテ御出席下サツテ居ル方ハ恐ラク初耳デアラウ、多分御存ジナイト思ヒマスケレドモ、此席上デナリテモ結構デスカラ、十分調査ヲシテ戴イ

テ、本省トシテハ斯ウ云フ事柄ニ對シテハ
斯ウ云フヤウニ處置スルノデアルト云フ位
ノ、ハッキリシタ御答辯ヲ私ハ戴キタイト思
フノデアリマス

○有馬國務大臣 只今御述ニナリマシタ兵
庫縣ノコトハ、政府委員ガ大體承知シテ居
ルサウデアリマスカラ、政府委員カラ御答
ヲ申上ゲマスガ、產業組合全般ニ亘テノ只
今ノ御尋デハナカツタト思ヒマスガ、御述ベ
ニナリマシタコトニ付キマシテ、私トシテ
一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、產業組合
ノミデナシニ、總テ不正ナ行爲ヲ致シマス
ルモノ、不正ナ行動ヲ致シマスルモノニ對
シマシテ、假令政府ガ獎勵ヲ致シテ居リマ
スルコトデアリマシテモ何デモ、苟モ其精
神ニ反シ、其主義ニ背イテ不法不正ナ行爲
ヲ致シマスル者ニ對シテハ、之ヲ嚴重ニ取
締リ、之ヲ排除シナケレバナラナイト考ヘ
マス、私ハ、御承知ノ方モアルカモ知レマ
セヌケレドモ、學校卒業以來、今日マデ殆
ド産業組合關係ヲ終始シテ來タ人間デアリ
マシテ、産業組合ノコトニハ關係ノ深イ者
デアリマスガ、併シ私共ハ産業組合ト云フ
モノノ精神ナリ主義ナリ、ソレヲ正シイモ
ノデアルト信ジマスレバ信ジマスル程、產
業組合ニ從事致シマスル者ガ不法ナ事ヲシ

不正ナ事ヲ致シマスコトニ對シテハ、嚴ニ之ヲ排除シナケレバナラスト堅ク信ジテ居リマス、今後農林省ト致シマシテ、産業組合ノ監督ヲ致シテ——一方ニ助長ヲ致シテ参リマスト同時ニ、監督ヲ嚴ニシ、又茲ニ自監査聯合會ガ出來マシテ、自治的ニ産業組合ガ不正ノ事ノナイヤウニ、不法ナ事ノナイヤウニ致シテ參リマスコトハ、是ハ産業組合ノ精神カラ申シマシテモ、主義カラ申シマシテモ、當然ノコトダト考ヘマス、御尋デハゴザイマセヌト思ヒマスガ、私トシテノ産業組合ニ對スル只今御述ニナリマシタコトニ對シテノ考ヲ申上ゲテ置キマス、斯ウ云フコトハ全國ニ山ノヤウニアルト云フ御話デアリマシタ、私モサウ云フ事ガ處々ニアルト云フコトヲ耳ニシテ居リマス、又傳ヘテ甚ダ遺憾ダトハ思ツテ居リマス、又傳ヘラル、程惡イ事が多イノカドウカト云フコトニ對シテモ、多少ノ疑ハゴザイマスガ、アリマスナラバ、是ハ嚴ニ監督ラシ、之ヲ又排除シナケレバナラスト思ヒマス、併シサウ云フコトガアリマシテモ、産業組合自體ガ惡イモノデアルトハ考ヘマセヌ、産業組合ハ何處マデモ良イモノデアリ、必要ナモノダト云フコトハ堅ク信ジテ居リマスカ

ラ、今後十分ニ助長シ發達セシメマスト同
時ニ、此監督ヲ嚴ニシテ誤リノナイヤウニ
致シテ參リタイト考ヘマス

千ノ組合ニ對シテ非常ニ少カツタノデ、組合ニ依リマシテハ、設立以來未ダ一度モ本省カラ監査ニ人ガ來タコトガナイト云フヤウナモノモアリマセウシ、或ハ一年ニ一度位シカ來ナカツタ云フヤウナモノモアル譯デアリマス、昨年以來私共ノ方デモ豫算ヲ得マシテ、中央ニ検査官ヲ倍加致シマシテ、地方ノ方ニモ充實スルコトニナリマシテ、今後ハ從來ヨリモ餘程頻繁ニ行クコトニナルノデアリマス、ソレト併セテ、今度産業組合自治監査法ニ依リマシテ、全國區域ノ監査聯合會ヲ作ッテ、自治的ニ監査ヲヤツテ行クト云フコトニナツテ居ル譯デアリマス、先般致シマシタ一齊監査ハ、全國ノ一万五千ノ組合ヲ、極メテ短期間ニ、昨年秋ノ頃ニ一齊ニ實行シタノデアリマシテ、謂ハヤリ方ト致シマシテハ、組合内部ニ於ケル監事ノ検査ヲ指導致シマシテ、嚴重ニヤツテ貴ツテ、ソレヲ後カラ本省ノ者ガ參リマスカ、或ハ本省ノ手ノ足ラヌ所ハ縣廳ノ人或ハ中央會ノ支會ノ人ヲ借リタノモアリマスガ、斯ウ云フ連中ガ見マシテ、色々ナ批判ヲ加ヘテ、指導モスルト云フヤリ方デ、全國的ニ一應狀態ヲ明ニシテ居ルノデアリマス、只今段々ト其結果ヲ取纏メ中デアリマス、所デ其一齊監査ノ際ニハ、大體

ニ於キマシテ本省カラハ聯合會ノ監査ヲ致
トカ云フヤウナ所ニ付キマシテハ、單位ノ
組合ニ對シマシテモ、本省カラ人ガ參リマ
シテ監査ヲ致シタヤウナ譯デアリマス、併
シ何ト致シマシテモ、今申シマシタヤウナ
譯デ、僅カ一日カ二日デ、一寸監査ヲシタト
云フ程度ノ事デアリマスノデ、多少トモ問
題ノアルヤウナ組合ニ付テハ、昨年秋ノ監
査ダケデハ間ニ合ハナイノデアリマシテ、
今後引續キマシテ、段々ト計畫ヲ立テ、細
密ナル監査モヤラウト思ツテ居リマス、何
シロ數ノ多イコトデアリマスカラ、多少問
題ノアル組合モアッタガ、サウ云フ組合ニ
付キマシテハ、段々ト計畫ヲ立テマシテ、
近イ中ニ尙ホ今一度見ルヤウナコトガアル
コトニナッテ居ルノデアリマス、現在ノ所
ハマダ、全般的ナ統計其他ノモノヲ取纏メ
中デアリマスカラ、サウ云フ細密ナル監査
ノ實行ト云フ所マデハ行ツテ居ラナイコト
ヲ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ
組合ニ何カ問題ガ起ツテ、殊ニ内容ニ多少ノ
缺陷ヲ生ジタト云フトキノ私共ノ處置デア
リマスガ、斯ウ云フ事ダケハ皆様御諒承ヲ
願ヒタイト思フノデス、ソレハ例ヘバ多少
ノ極メテ短期間ノ時期ヲ見、是ハ問題ノ程

度ニモ依リマスガ、時期ヲ置キマシテ、多
少ノ時期ノ間ニ其組合ノ事業ヲ停止スルヤ
モナリ、又組合員全般ノ爲ニモナルト思ハ
レルヤウナ場合ニ於キマシテハ、何モ必シ
モ急イデ事ヲ荒立テマシテ、組合ノ事業ガ
停止サレルヤウナ所マデ突進メナイデ、而
モ或ル期間ヲ置イタ短時日ノ間ニ、結局ヤ
ルベキダケノ事ヲヤツテシマフト云フヤウ
ナ事モヤルコトガアルノデアリマス、一ツ
サウ云フヤウナコトノアリ得ルコトニ付テ
ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

マシテ、依然トシテ此人ガ專務理事ヲヤツテ
居ルノデアリマス、其三千圓ニ對シテ一回
モ利子ヲ拂ツテ居ナイ、是ハ外ノ事柄デアリ
マシテ、申上ゲルベキモノデハナイカト思
ヒマスガ、ヤハリ兵庫縣下ニ於キマシテモ、
無盡會社ガ非常ニ惡イコトヲヤッテ居タ、
ヤハリ私ノ土地デ出張所ガ惡イコトヲヤリ
マシタガ、裁判沙汰ニナリマシテ、縣廳ト
致シマシテハ、行政處分ト致シマシテ、其
出張所ノ閉店ヲ命ゼラレタノデアリマス、
所ガ其本店ニ遡ツテオ炎ヲ据エナカッタ爲
ニ、同ジ事ヲ他所デヤリマシテ、逆モ仕方
ル處置ヲ執ラレルコトデアラウト思フノデ
アリマス、其當時私ガ、言ハナイコトデハ
ナイカ、偶ニ此店ヲ止メテモ、同ジ縣内デ他
ノ人ガ現ニヤツテ居ル、ドウデス、私ガ言ッ
タ通リニナツタデセウト言ッタ時ニ、如何ニ
モサウデアリマスト言ッテ居ル、小サイ事柄
デモ斷然處置ヲシテ居ツタナラバ、アトデコ
ンナ大キナコトニナラヌ、サウ云フコトモ
アリマスカラ、監督ヲ爲サル上ニ於キマシ
テハ、十分其點ヲ御注意願ヒタイト思フ、
ソレカラ先程御尋致シタ米澤検査官ガ上申
書ニ述べテ居ルヤウナコトヲ、果シテ申サ

レタノデアリマセウカ、若シソレガ僞リ
ル上申書デアリマスカラ、裁判所ハ之ヲ
眞實トシテ取上げ居ルカモ知レナイ、若
シスガ僞リデアルトルナラバ、何等カノ
方法デ之ヲ是正シテ貴ヒタイノデアリマス、
此點ヲ御調査ノ上明確ナ御答辯ヲ戴キタイ
○石黒政府委員 尚ホ先程申落シマシタガ、
私共産業組合ノ全般ヲ見マシテ、大體ニ於
キマシテ、産業組合ノ當事者ガ、組合ノ本
來ノ精神ニ則ツテ、非常ニ立派ナ仕事ヲヤッ
テ居ラレルト思ヒマスガ、但シ例ヘバ都會
地ニ於ケル購買組合ト云フヤウナモノニナ
リマスト、時ニハ折角幹部ノ方ハ熱心デアツ
テモ、必シモ組合員全般ガ組合的精神ニ足
リナイ所ガアリマシタリ、或ハ幹部ニ其人
ヲ得ナイト云フヤウナコトガアリマシテ、
時ニハ私共カラ見マシテ不十分ニ思ハレル
ヤウナ所ガアルノデアリマス、其事ニ付キ
マシテモ御諒承置キヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、尙ホ色々ノ御話ニ付キマシテハ、私共
ノ方デモ當然必要ナル調査ヲ進メタイト思
テ居リマス

○小平政府委員 組合ノ検査ノ内容、實體ニ付キマシテ検査官ガ言ヒマシタコトヲ、斯ノ如キ席デ發表スルコトハ出來ナイノデアリマシテ、甚ダ遺憾デアリマスケレドモ左様御承知ヲ願ヒマス

○河合委員 能ク御答辯ノ趣旨ヲ諒得スルコトガ出來ナイノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ質問スルノハイケナイト仰シャツタノデアリマスカ、事實ハ能ク分ッテ居ルガ、答辯ガ出來ナイト仰シャツタノデアリマスカ

○小平政府委員 個々ノ組合ノ監査ニ對シテ、監査官ガ組合ニ指示致シマシタコト、或ハ監査官ガ地方廳ニ言ヒマシタコト、左様ナ個々ノ組合ニ對スル監査官ノ行動ニ付キマシテハ、外部ニ發表スルコトガ出來ナイコトニナッテ居リマス、故ニ斯様ナ席デ以テ米澤事務官ガ如何ナルコトヲ申述ベマシタカト云フコトヲ述ベルコトハ出來ナイノデアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○河合委員 此上申書ナルモノニ書キ竝ベテ居リマスコトガ偽リデアルト致シマシテモ、之ヲ偽リデアルト云フコトヲ明ニスル方法ハナイノデアリマセウカ、斯ウ云フ席上デサウ云フコトヲ質問シ又答辯スルコト

ハ出來ナイノデアルト云フコトダケデハ私
ハドウモ納得ガ出來ナイノデアリマス

明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、追テ更
ニ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス

○小平政府委員 左様ナ御注意ハ洵ニ結構

ナ御注意ニ拜聽致シマスノデ、農林當局ト致

シマシテハ、勿論常ニ産業組合ノ監督ニ付
キマシテ、監督ノ事後ニ於キマシテモ、又
監査ノ結果ニ付キマシテモ更ニ再検討ヲ致

シマシテ、左様ナ監督ニ從事シタ事務官ノ

申シマシタコトガ誤リ傳ヘラレテ、更ニ他
ノ官廳ニ誤ツテ利用サレルヤウナコトノ處
ガアリマスヤウナ場合ハ十分ニ是正スルコ
トガ出來マス、是ハ官廳間ノコトデアリマ
スカラ、外部ニ發表致シマセヌガ、官廳間ニ
於テ十分努力致シマス、左様御承知ヲ願ヒ
マス

○河合委員 私モソレデ甚ダ満足致シマス、
若シ必要トサレマスナラバ其上申書ナルモ
ノノ寫シヲ私持ツテ居リマスカラ、御手許
ニ差出シテモ宜シイト考ヘテ居リマス、此
席上ニ於テ御發表出來ナイト致シマスナラ
バ、ソレモ結構デアリマス、若シソレガ間
違ヒデアツタ致シマシタナラバ、ハッキリ
ト官廳間ニ於テソレガ間違ツテ居ルト云フ
コトヲ明ニシテ戴キタイ、其事ヲ重ネテ希
望致シテ私ノ質問ハ是終了致シマス

○青山委員長 本日ハ是デ散會致シマス、

午後五時二十分散會